

（別紙 3）帳票詳細要件

資料中の文字色が黒ではないものは以下の内容を表す。

水色・・・・・・・・標準オプション部分

帳票詳細要件

大分類		小分類（帳票タイトル）	帳票ID(新)	帳票ID(旧)	頁番号
後期高齢	1. 共通	01. 通知書印刷用帳票 ※1	0250001	共通-01	1
		02. 宛名シール印刷用帳票 ※1	0250002	共通-02	2
	2. 被保険者資格	被保険者証、短期証の出力仕様は広域標準システムに準拠			
	3. 保険料賦課	01. 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額 変更通知書、特別徴収中止通知書	0250003	賦課-01	3
		02. 後期高齢者医療暫定保険料額決定通知書兼納入通知書	0250004	賦課-02	32
		03. 保険料額決定通知書 兼 特別徴収仮徴収開始通知書 兼 納入 通知書 保険料額変更通知書 兼 特別徴収仮徴収変更通知書 兼 納入 通知書 保険料額変更通知書 兼 特別徴収仮徴収中止通知書 兼 納入 通知書	0250005	賦課-03	34
		04. 後期高齢者医療保険料口座振替開始（変更）のお知らせ	0250006	賦課-04	37
		05. 納付書1（カク公）	0250007	賦課-05	38
		06. 連帳納付書1（カク公）	0250008	賦課-06	40
		07. 納付書2（マル公）	0250009	賦課-07	42
		08. 連帳納付書2（マル公）	0250010	賦課-08	44
		簡易申告書の出力仕様は広域標準システムに準拠			
	4. 保険料収納	01. 後期高齢者医療保険料口座振替不能通知書	0250011	収納-01	46
		02. 後期高齢者医療保険料還付（充当）通知書	0250012	収納-02	47
		03. 後期高齢者医療保険料充当通知書	0250013	収納-03	49
		04. 後期高齢者医療保険料還付請求書	0250014	収納-04	51
		05. 後期高齢者医療保険料還付・充当希望確認票 ※1	0250015	収納-05	52
		06. 後期高齢者医療保険料収納状況のお知らせ ※1	0250016	収納-06	53
		07. 後期高齢者医療保険料納付証明書	0250017	収納-07	54
		08. 後期高齢者医療保険料口座振替済通知兼納付額証明書 ※1	0250018	収納-08	56
		09. 後期高齢者医療保険料納付額証明書	0250019	収納-09	57
		10. 後期高齢者医療保険料完納証明書	0250020	収納-10	59
		11. 後期高齢者医療保険料督促状	0250021	収納-11	60
		12. 督促状・催告書兼納付書1（カク公）	0250022	収納-12	61
		13. 督促状・催告書兼納付書2（マル公）	0250023	収納-13	63
	5. 滞納管理	01. 後期高齢者医療保険料催告書	0250024	滞納-01	65
		02. 後期高齢者医療保険料催告書別紙	0250025	滞納-02	66
		03. 後期高齢者医療保険料分納誓約書	0250026	滞納-03	67
		04. 後期高齢者医療保険料分納承認連絡書	0250027	滞納-04	69
		05. 後期高齢者医療保険料納付誓約書	0250028	滞納-05	70

※1 標準オプションとしている等の理由により、業務フロー上は記載していない帳票

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		01. 共通		帳票名称		01 通知書印刷用帳票
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
1	文書番号		●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする
2	発行年月日		●			和暦表記
3	宛名		●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号
4	自治体の名称		●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
5	自治体の印		●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること パラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している公印を出力する
6	帳票タイトル		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する
7	帳票本文		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する
8	問い合わせ先	問い合わせ先出力有無	-	-	-	通番9～通番18の問い合わせ先項目については、パラメタにより出力有無を変更でき、「有」となっている場合は、通番9～通番18の項目を出力すること
9		問い合わせ先タイトル	●			「問い合わせ先」の文言を出力
10		担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名＋部署名
11		〒	●			「〒」の文言を出力
12		担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号＋全角スペース＋住所
13		TEL	●			「TEL」の文言を出力
14		担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定
15		FAX番号	●			「FAX番号」の文言を出力 パラメタにより出力有無を変更できること
16		担当部署FAX番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること
17		メール		●		「メール」の文言を出力
18		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定
19	不服の申立	不服の申立出力有無	-	-	-	通番20～通番26の不服の申立項目については、パラメタにより出力有無を変更でき、「有」となっている場合は、通番20～通番26の項目を出力すること
20		不服の申立タイトル	●			文言マスタで設定された文言を印字する （印字例） 不服の申立
21		不服の申立本文[不服申立先担当部署名][不服申立先担当自治体名]	●			文言マスタで設定された文言を印字する [不服申立先担当部署名]：システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（例：後期高齢者医療審査会名等を設定） [不服申立先担当自治体名]：システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（提起先組織名。例：後期高齢者医療広域連合名等を設定） （印字例） この通知について不服があるときは、この通知書を受け取った日の翌日から起算して3か月以内に[不服申立先担当部署名]に対し審査請求をすることができます。また、この処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決書を受け取った日の翌日から起算して6か月以内に[不服申立先担当自治体名]を被告として提起することができます。 なお、処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決を経た後（次の1から3までのいずれかに該当するときは除く。）でなければ提起することができないこととされています。 1 審査請求があった日から3か月を経過しても裁決がないとき。 2 処分、処分の執行又は手続の続行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき。 3 その他裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき。
22		〒	●			「〒」の文言を出力
23		不服申立先担当部署郵便番号	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定
24		不服申立先担当部署住所	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定
25		TEL	●			「TEL」の文言を出力
26		不服申立先担当部署電話番号	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定

業務	01. 共通		帳票名称		02 宛名シール印刷用帳票	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
1	1人目	郵便番号	●			送付先＞転出先住所＞現住所の優先順位で設定を行う。
2		住所	●			送付先＞転出先住所＞現住所の優先順位で設定を行う。
3		方書	●			送付先＞転出先住所＞現住所の優先順位で設定を行う。
4		氏名	●			送付先＞転出先住所＞現住所の優先順位で設定を行う。 機能・帳票要件（敬称付与機能）のとおりに、敬称を付けること
5		対象者氏名		●		パラメタにより出力有無を変更でき、氏名に本人以外（送付先や家族等）の値が設定されている場合は、本人氏名を下記の編集条件で印字する ”（”＋氏名＋全角スペース＋”様分）”
6		カスタマバーコード	●			
7		対象者番号		●		対象者やその他の送付物との結び付け用、送付前引き抜き用の番号 利用する番号は、1からの連番、宛名番号や被保険者番号等、結び付けや特定が可能な番号とする パラメタにより出力有無を変更できること
8	2人目	郵便番号	●			
9		住所	●			
10		方書	●			
11		氏名	●			編集条件は1人目の記載と同じ
12		対象者氏名		●		編集条件は1人目の記載と同じ
13		カスタマバーコード	●			
14		対象者番号		●		編集条件は1人目の記載と同じ
15	・・・					
16	14人目	郵便番号	●			
17		住所	●			
18		方書	●			
19		氏名	●			編集条件は1人目の記載と同じ
20		対象者氏名		●		編集条件は1人目の記載と同じ
21		カスタマバーコード	●			
22		対象者番号		●		編集条件は1人目の記載と同じ
23	15人目以降は改ページする		●			※出力できる対象者数（枚数）に合わせて改ページすること

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		03. 保険料賦課		帳票名称		01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
1	タイトル 1 [相当年度]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、決定内容によって以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目（和暦表記） （印字例 1：賦課決定通知） [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料額 決定通知書 （印字例 2：賦課変更決定通知） [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料額 変更決定通知書	
2	通知書番号		●			機能・帳票要件における「文書番号」の扱いと同様とする	
3	発行年月日		●			和暦表記	
4	窓あき宛名		●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号	
5	案内文 1 [相当年度]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、決定内容によって以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目（和暦表記） （印字例：賦課決定通知、賦課変更決定通知） [相当年度]年度分の後期高齢者医療保険料額を次のとおり決定（変更）しましたので通知します。	
6	広域連合の名称		●			パラメタにより出力有無を変更できること 広域連合＋広域連合長名 広域連合名の出力有無を変更できること 広域連合長名は機能・帳票要件（広域連合長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること	
7	広域連合の印		●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること 広域連合長の公印を出力する（年額通知部分のため）	
8	被保険者氏名		●				
9	被保険者番号		●				
10	性別		●			被保険者の性別	
11	生年月日		●			被保険者の生年月日	
12	住所		●			被保険者の住所 住所＋全角スペース＋方書	
13	決定年月日		●			和暦表記 決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 決定年月日 （印字例：賦課変更決定通知） 決定年月日 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”	
14	保険料額		●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 保険料額 （印字例：賦課変更決定通知） 保険料額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”	
15	決定（変更）理由		●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 決定理由 （印字例：賦課変更決定通知） 変更理由 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”	
16	案内文 2 [広域連合][都道府県]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること [広域連合]：システム印字項目 [都道府県]：システム印字項目 （印字例） ※保険料額は、[広域連合]内においての保険料額です。 このため[都道府県]内で転居された方は原則として複数の自治体にお支払いいただくことになります。	
17	算定基礎タイトル		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） 保険料算定の基礎（算定方法は次紙をご覧ください）	
18	保険料算定の基礎 上段	区分	●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “決定” （印字例：賦課変更決定通知） “決定後” （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”	
19		所得金額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 所得金額 （印字例：賦課変更決定通知） 所得金額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”	

業務		帳票名称			01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
20	保険料算定の基礎 上段	所得割率	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 所得割率 （印字例：賦課変更決定通知） 所得割率 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
21		所得割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 所得割額 （印字例：賦課変更決定通知） 所得割額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
22		均等割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 均等割額 （印字例：賦課変更決定通知） 均等割額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
23		算出額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 算出額 （印字例：賦課変更決定通知） 算出額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
24		限度超過額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 限度超過額 （印字例：賦課変更決定通知） 限度超過額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
25		所得割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 所得割軽減額 （印字例：賦課変更決定通知） 所得割軽減額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
26		均等割軽減割合	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 均等割軽減割合 （印字例：賦課変更決定通知） 均等割軽減割合 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
27		均等割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 均等割軽減額 （印字例：賦課変更決定通知） 均等割軽減額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
28		年保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 年保険料額 （印字例：賦課変更決定通知） 年保険料額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”

業務			帳票名称			01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
29	保険料算定の基礎 上段	月数	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 月数 (印字例：賦課変更決定通知) 月数 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”	
30		月割減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 月割減額 (印字例：賦課変更決定通知) 月割減額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”	
31		保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 保険料額 (印字例：賦課変更決定通知) 保険料額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”	
32	保険料算定の基礎 下段	区分	●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “*” (印字例：賦課変更決定通知) “決定前” (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”	
33		所得金額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “*” (印字例：賦課変更決定通知) 決定前所得金額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”	
34		所得割率	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “*” (印字例：賦課変更決定通知) 決定前所得割率 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”	
35		所得割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “*” (印字例：賦課変更決定通知) 決定前所得割額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”	
36		均等割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “*” (印字例：賦課変更決定通知) 決定前均等割額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”	
37		算出額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “*” (印字例：賦課変更決定通知) 決定前算出額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”	

業務		帳票名称			01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
38	保険料算定の基礎 下段	限度超過額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 決定前限度超過額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
39		所得割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 決定前所得割軽減額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
40		均等割軽減割合	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 決定前均等割軽減割合 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
41		均等割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 決定前均等割軽減額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
42		年保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 決定前年保険料額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
43		月数	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 決定前月数 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
44		月割減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 決定前月割減額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
45		保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 決定前保険料額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
46	保険料の端数処理		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字す ること （印字例） ※100円未満切捨て
47	案内文 3		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている かつ 被用者保険の被扶養者軽 減の場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） 後期高齢者医療制度加入日の前日まで会社の健康保険など（国保・国保組合は 除く）の被扶養者だった方は、加入月から2年を経過する月までの間、こちらに 表示される金額が本年度分の保険料算定に含まれます。

業務		帳票名称			01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
48	保険料算定の基礎 被扶養者軽減 上段	区分	●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “決定” (印字例：賦課変更決定通知) “決定後” (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”
49		均等割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 均等割額（被扶養者） (印字例：賦課変更決定通知) 均等割額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”
50		均等割軽減割合	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 均等割軽減割合（被扶養者） (印字例：賦課変更決定通知) 均等割軽減割合（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”
51		均等割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 均等割軽減額（被扶養者） (印字例：賦課変更決定通知) 均等割軽減額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”
52		年保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 年保険料額（被扶養者） (印字例：賦課変更決定通知) 年保険料額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”
53		月数	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 月数（被扶養者） (印字例：賦課変更決定通知) 月数（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”
54		月割減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 月割減額（被扶養者） (印字例：賦課変更決定通知) 月割減額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”
55	保険料算定の基礎 被扶養者軽減 下段	区分	●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “*” (印字例：賦課変更決定通知) “決定前” (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”
56		均等割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “*” (印字例：賦課変更決定通知) 決定前均等割額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課		帳票名称			01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
57	保険料算定の基礎 被扶養者軽減 下段	均等割軽減割合	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 決定前均等割軽減割合（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”	
58		均等割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 決定前均等割軽減額（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”	
59		年保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 決定前年保険料額（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”	
60		月数	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 決定前月数（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”	
61		月割減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 決定前月割減額（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”	
62	タイトル2 [相当年度]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、決定内容によって以下の 例のように設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目（和暦表記） （印字例1 納入通知） [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 （印字例2 変更通知） [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料 納入通知書 兼 特別徴収額変更・中 止通知書	
63	案内文4 [相当年度]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、決定内容によって以下の 例のように設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目（和暦表記） （印字例） [相当年度]年度分の後期高齢者医療保険料額を次のとおり徴収することに決定 （変更）しましたので通知します。	
64	自治体の名称		●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること	
65	自治体の印		●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること 登録されている自治体の長（もしくは職務代理人）の公印	
66	徴収決定年月日		●			和暦表記	
67	自治体別保険料額タイトル		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定さ れた文言を印字すること （印字例） 自自治体に納付する保険料額（A）＋（B）	
68	自治体別保険料額		●				
69	決定(変更)理由		●				
70	特別徴収期割額タイトル		●			※A3様式の場合のみ印字される（比較確認用に記載） 文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定さ れた文言を印字すること （印字例） 特別徴収分の納付期割額（年金からのお支払い）	
71	特徴合計タイトル		●			※A3様式の場合のみ印字される（比較確認用に記載） 文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定さ れた文言を印字すること （印字例） （A）合計額	

業務	03. 保険料賦課		帳票名称			01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
72	特別徴収期割額 上段 ※【期別保険料額】 区分1－特別徴収列	区分1	●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること （印字例：納入通知） “決定” （印字例：変更通知） “決定後”
73		特徴1期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 特徴1期保険料額 （変更通知） 特徴1期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。
74		特徴2期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 特徴2期保険料額 （変更通知） 特徴2期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。
75		特徴3期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 特徴3期保険料額 （変更通知） 特徴3期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。
76		特徴4期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 特徴4期保険料額 （変更通知） 特徴4期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。
77		特徴5期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 特徴5期保険料額 （変更通知） 特徴5期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。
78		特徴6期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 特徴6期保険料額 （変更通知） 特徴6期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。
79		特徴合計額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 特徴保険料合計額 （変更通知） 特徴保険料合計額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。
80	特別徴収期割額 下段 ※【期別保険料額】 区分2－特別徴収列	区分2	●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること （印字例：納入通知） “*” （印字例：変更通知） “決定前”
81		特徴1期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 決定前特徴1期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。
82		特徴2期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 決定前特徴2期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。
83		特徴3期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 決定前特徴3期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		帳票名称			01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
84	特別徴収期割額 下段 ※【期別保険料額】 区分2ー特別徴収列	特徴4期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 決定前特徴4期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。
85		特徴5期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 決定前特徴5期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。
86		特徴6期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 決定前特徴6期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。
87		特徴合計額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 決定前特徴保険料合計額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。
88	案内文5		●			※A3様式の場合のみ印字される（比較確認用に記載） （本様式の場合、説明文1への記載とする） 文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） ◆世帯の構成や所得に変更が無い場合、翌年度の仮徴収額は特徴6期の金額と同額です。
89	納付方法タイトル1		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） あなた様の納付方法は下記のとおりです。
90	納付方法タイトル2		●			※A3様式の場合のみ印字される（比較確認用に記載） 文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） 変 更 前
91	納付方法タイトル3		●			※A3様式の場合のみ印字される（比較確認用に記載） 文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） 変 更 後
92	備考（固定文言1）		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 普通徴収分口座情報
93	納付方法 決定前	納付方法	●			※A3様式の場合のみ印字される（比較確認用に記載） 決定前期割内容によって文言マスタに設定された以下の内容を印字すること （印字例：特徴のみ） “年金からの支払い” （印字例：普徴のみ口座なし） “納付書払い” （印字例：普徴のみ口座あり（全期振替の場合）） “口座振替（全期前納引落）” （印字例：普徴のみ口座あり（期別振替の場合）） “口座振替（期別引落）” （印字例：併徴かつ口座なし） “納付書払いと年金からの支払い” （印字例：併徴かつ口座あり） “口座振替と年金からの支払い”
94		特別徴収義務者	●			※A3様式の場合のみ印字される（比較確認用に記載） 決定前期割内容によって以下の内容を印字すること （印字例：特徴期あり） 特別徴収義務者 （印字例：特徴期なし） “*”
95		特別徴収対象年金	●			※A3様式の場合のみ印字される（比較確認用に記載） 決定前期割内容によって以下の内容を印字すること （印字例：特徴期あり） 特別徴収対象年金 （印字例：特徴期なし） “*”
96		固定文言2＋編集1	●			※A3様式の場合のみ印字される（比較確認用に記載） 文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること （想定される印字項目） 金融機関名、支店名、口座名義人 等

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課		帳票名称			01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
97	納付方法 決定後	納付方法	●			決定後期割内容によって文言マスタに設定された以下の内容を印字すること （印字例：特徴のみ） “年金からの支払い” （印字例：普徴のみ口座なし） “納付書払い” （印字例：普徴のみ口座あり（全期振替の場合）） “口座振替（全期前納引落）” （印字例：普徴のみ口座あり（期別振替の場合）） “口座振替（期別引落）” （印字例：併徴かつ口座なし） “納付書払いと年金からの支払い” （印字例：併徴かつ口座あり） “口座振替と年金からの支払い”	
98		特別徴収義務者	●			決定後期割内容によって以下の内容を印字すること （印字例：特徴期あり） 特別徴収義務者 （印字例：特徴期なし） “*”	
99		特別徴収対象年金	●			決定後期割内容によって以下の内容を印字すること （印字例：特徴期あり） 特別徴収対象年金 （印字例：特徴期なし） “*”	
100		固定文言 3 + 編集 2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること （想定される印字項目） 金融機関名、支店名、口座名義人 等	
101	案内文 6 [発行年月日]		●			※A3様式の場合のみ印字される（比較確認用に記載） （本様式の場合、説明文 1 への記載とする） 文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること [発行年月日]：システム印字項目（和暦表記） （印字例） ◆口座情報は、通知日（ [発行年月日] ）時点にご登録のある口座を記載しています。また、口座名義人は先頭から 20 文字を記載しています。	
102	普通徴収期割額タイトル		●			※A3様式の場合のみ印字される（比較確認用に記載） 文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） 普通徴収分の納付期割額（年金からのお支払い）	
103	普徴期 1 タイトル		●			システム設定により、普徴開始期から以下の例のようなシステムにて編集した文言を普徴期 1 から印字すること （各市区町村の納期に応じてタイトルを設定（不要な箇所は空欄）できること） （印字例） 1 期、2 期、3 期、4 期、5 期、6 期、7 期、8 期、9 期、10 期、 11 期、12 期	
104	普徴期 2 タイトル		●				
105	普徴期 3 タイトル		●				
106	普徴期 4 タイトル		●				
107	普徴期 5 タイトル		●				
108	普徴期 6 タイトル		●				
109	普徴期 7 タイトル		●				
110	普徴期 8 タイトル		●				
111	普徴期 9 タイトル		●				
112	普徴期 10 タイトル		●				
113	普徴期 11 タイトル		●				
114	普徴期 12 タイトル		●				
115	普徴期 13 タイトル（過年分）		●			相当年度が同一で、相当年度の 4 月～3 月の納期に該当しない対象（出納閉鎖期間・過年度の増額賦課により作成）について、以下の例のように文言を印字すること （例 1）随時 1 期 （例 2）過年 1 期 ※ 4 つ以上の期別が発生した場合は、通知を複数頁（説明文の印刷頁を含まず）とする	
116	普徴期 14 タイトル（過年分）		●				
117	普徴期 15 タイトル（過年分）		●				
118	普徴合計タイトル		●			※A3様式の場合のみ印字される（比較確認用に記載） 文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） （B）合計額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。	

業務	03. 保険料賦課		帳票名称			01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
119	納期限	普徴期 1 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 1 あり） 普通徴収期 1 納期限 （普通徴収期 1 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 1 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。	
120		普徴期 2 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 2 あり） 普通徴収期 2 納期限 （普通徴収期 2 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 2 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。	
121		普徴期 3 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 3 あり） 普通徴収期 3 納期限 （普通徴収期 3 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 3 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。	
122		普徴期 4 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 4 あり） 普通徴収期 4 納期限 （普通徴収期 4 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 4 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。	
123		普徴期 5 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 5 あり） 普通徴収期 5 納期限 （普通徴収期 5 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 5 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。	
124		普徴期 6 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 6 あり） 普通徴収期 6 納期限 （普通徴収期 6 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 6 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。	
125		普徴期 7 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 7 あり） 普通徴収期 7 納期限 （普通徴収期 7 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 7 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。	
126		普徴期 8 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 8 あり） 普通徴収期 8 納期限 （普通徴収期 8 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 8 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。	
127		普徴期 9 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 9 あり） 普通徴収期 9 納期限 （普通徴収期 9 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 9 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。	
128		普徴期 1 0 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 1 0 あり） 普通徴収期 1 0 納期限 （普通徴収期 1 0 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 1 0 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。	
129		普徴期 1 1 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 1 1 あり） 普通徴収期 1 1 納期限 （普通徴収期 1 1 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 1 1 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。	
130	普徴期 1 2 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 1 2 あり） 普通徴収期 1 2 納期限 （普通徴収期 1 2 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 1 2 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。		
131	普徴期 1 3 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 1 3 あり） 普通徴収期 1 3 納期限 （普通徴収期 1 3 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 1 3 タイトル（過年分）の印字対象と同じ期別の納期限を印字する。		

業務			帳票名称			01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
132	納期限	普徴期 1 4 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 1 4 あり） 普通徴収期 1 4 納期限 （普通徴収期 1 4 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 1 4 タイトル（過年分）の印字対象と同じ期別の納期限を印字する。	
133		普徴期 1 5 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 1 5 あり） 普通徴収期 1 4 納期限 （普通徴収期 1 5 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 1 5 タイトル（過年分）の印字対象と同じ期別の納期限を印字する。	
134	普通徴収期割額 上段 ※【期別保険料額】 区分 1－普通徴収列	区分	●			※A3様式の場合のみ印字される（比較確認用に記載） （A4様式の場合、特別徴収期割額上段—区分 1 にて出力） 決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること （印字例：納入通知） “決定” （印字例：変更通知） “決定後”	
135		普徴期 1 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 1 保険料額 （変更通知） 普徴期 1 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。	
136		普徴期 2 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 2 保険料額 （変更通知） 普徴期 2 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 2 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。	
137		普徴期 3 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 3 保険料額 （変更通知） 普徴期 3 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 3 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。	
138		普徴期 4 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 4 保険料額 （変更通知） 普徴期 4 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 4 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。	
139		普徴期 5 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 5 保険料額 （変更通知） 普徴期 5 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 5 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。	
140		普徴期 6 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 6 保険料額 （変更通知） 普徴期 6 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 6 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。	
141		普徴期 7 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 7 保険料額 （変更通知） 普徴期 7 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 7 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。	
142		普徴期 8 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 8 保険料額 （変更通知） 普徴期 8 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 8 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。	
143		普徴期 9 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 9 保険料額 （変更通知） 普徴期 9 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 9 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。	

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課		帳票名称			01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
144	普通徴収期割額 上段 ※【期別保険料額】 区分１－普通徴収列	普徴期１０保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期１０保険料額 （変更通知） 普徴期１０保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期１０タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を 印字する。	
145		普徴期１１保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期１１保険料額 （変更通知） 普徴期１１保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期１１タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を 印字する。	
146		普徴期１２保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期１２保険料額 （変更通知） 普徴期１２保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期１２タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を 印字する。	
147		普徴期１３保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期１３保険料額 （変更通知） 普徴期１３保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期１３タイトル（過年分）の印字対象と同じ期別の 保険料額を印字する。	
148		普徴期１４保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期１４保険料額 （変更通知） 普徴期１４保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期１４タイトル（過年分）の印字対象と同じ期別の 保険料額を印字する。	
149		普徴期１５保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期１５保険料額 （変更通知） 普徴期１５保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期１５タイトル（過年分）の印字対象と同じ期別の 保険料額を印字する。	
150		普徴合計額	●				決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴保険料合計額 （変更通知） 普徴保険料合計額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字 し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。
151	普通徴収期割額 下段 ※【期別保険料額】 区分２－普通徴収列	区分	●			※A3様式の場合のみ印字される（比較確認用に記載） （A4様式の場合、特別徴収期割額上段－区分２にて出力） 決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された以下の内容を印字す ること （印字例：納入通知） “*” （印字例：変更通知） “決定前”	
152		普徴期１保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 決定前普徴期１保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期１タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料 額を印字する。	
153		普徴期２保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 決定前普徴期２保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期２タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料 額を印字する。	
154		普徴期３保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 決定前普徴期３保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期３タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料 額を印字する。	
155		普徴期４保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 決定前普徴期４保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期４タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料 額を印字する。	

業務		帳票名称			01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
156	普通徴収期割額 下段 ※【期別保険料額】 区分２－普通徴収列	普徴期 5 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 決定前普徴期 5 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 5 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。
157		普徴期 6 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 決定前普徴期 6 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 6 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。
158		普徴期 7 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 決定前普徴期 7 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 7 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。
159		普徴期 8 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 決定前普徴期 8 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 8 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。
160		普徴期 9 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 決定前普徴期 9 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 9 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。
161		普徴期 1 0 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 決定前普徴期 1 0 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 0 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。
162		普徴期 1 1 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 決定前普徴期 1 1 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 1 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。
163		普徴期 1 2 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 決定前普徴期 1 2 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 2 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。
164		普徴期 1 3 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 決定前普徴通常期 1 3 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 3 タイトル（過年分）の印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。
165		普徴期 1 4 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 決定前普徴通常期 1 4 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 4 タイトル（過年分）の印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。
166		普徴期 1 5 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 決定前普徴通常期 1 5 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 5 タイトル（過年分）の印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。
167		普徴合計額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 決定前普徴保険料合計額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		03. 保険料賦課		帳票名称		01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】	
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など		
		必須	オプション	不可			
168	案内文 7	●			※A3様式の場合のみ印字される（比較確認用に記載） （本様式の場合、説明文1への記載とする） 文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） ◆納期限は各月末日です。（金融機関が休みのときは、翌営業日）。なお、口座振替は納期限が引落日になります。		
169	案内文 8	●			※A3様式の場合のみ印字される（比較確認用に記載） （本様式の場合、説明文1への記載とする） 文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） ◆区分に「過年」の記載がある場合は、お支払いいただく年度が過ぎて保険料が決定した分です。		
170	ページ数	●			最終ページ（説明文1の印刷ページ）を除いたページ数		
171	総ページ数	●			最終ページ（説明文1の印刷ページ）を除いた総ページ数		
172	問い合わせ先	担当部署名	●		※A3様式の場合のみ印字される（比較確認用に記載） （本様式の場合、説明文1への記載とする） マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名＋部署名		
173		担当部署住所	●		※A3様式の場合のみ印字される（比較確認用に記載） （本様式の場合、説明文1への記載とする） マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号＋全角スペース＋住所		
174		担当部署電話番号	●		※A3様式の場合のみ印字される（比較確認用に記載） （本様式の場合、説明文1への記載とする） マスタ管理している問合せ先情報を設定		
175		担当部署FAX番号	●	f	※A3様式の場合のみ印字される（比較確認用に記載） （本様式の場合、説明文1への記載とする） マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること		
176		担当部署メール		●	※A3様式の場合のみ印字される（比較確認用に記載） （本様式の場合、説明文1への記載とする） マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること		
177	案内文 9	●			※A3様式の場合のみ印字される（比較確認用に記載） （本様式の場合、説明文1への記載とする） 文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） 左記の問い合わせ先は保険料額についての問い合わせ先となります。保険料のお支払い方法、選付、納付相談については、次紙に記載の問い合わせ先にご連絡ください。 その他の各種手続きについても次紙に記載の各問い合わせ先へご連絡ください。		
178	説明文 1	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、通知書の最終頁として以下の例のように設定された文言を印字すること （※案内文5～9、問い合わせ先、説明文2はA4様式の場合は説明文1への記載とする） なお、可変項目については広域標準システムにおける印字編集条件に準ずることとする （印字例） ※ 後期高齢者医療保険料は、高齢者の医療の確保に関する法律及び4XX後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の規定に基づき、2X2年2月2日現在の後期高齢者医療制度の被保険者に対して賦課されたものです。 ※ 保険料の算出方法は以下のとおりです。 所得割額＝賦課のもととなる所得金額（※0×所得割率（50000／100） 均等割額＝70000円 ※1 賦課のもととなる所得金額＝2X2年中の所得－3万円 ※ 所得が低い方に対する軽減 世帯内の後期高齢者医療制度の被保険者全員と世帯主の総所得金額等の合計額が以下のいずれかに該当する場合、均等割額から次の額が軽減されます。 3万円以下 内、世帯内の被保険者全員が年金収入8万円以下（その他の各種所得がない）【※】 3万円＋（22000円×被保険者数）以下 【※】については、平成2年度以降で適用されます。 38000円×被保険者数 ※ 後期高齢者医療制度に加入する前日において被用者保険の被保険者であった方に対する軽減 該当する場合、所得割額課税されず、均等割額から次の額が軽減されます。 ただし、所得が低い方に対する軽減にも該当する方については、いずれか大きい方の額が軽減されます。		

業務	03. 保険料賦課	帳票名称			01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
179	説明文 2	●			※A3様式の場合のみ印字される（比較確認用に記載） （本様式の場合、説明文1への記載とする） 文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、通知書の最終頁として設定された文言を印字すること [不服申立先担当部署名]：システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（例：後期高齢者医療審査会名等を設定） [不服申立先担当自治体名]：システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（提起先組織名。例：後期高齢者医療広域連合名等を設定） （想定される印字内容） 普通徴収（納付書払い）の場合の納入場所、問い合わせ先、不服申立および取消訴訟 等 （不服申し立ての印字例） 不服の申立 この通知について不服があるときは、この通知書を受け取った日の翌日から起算して3か月以内に[不服申立先担当部署名]に対し審査請求をすることができます。また、この処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決書を受け取った日の翌日から起算して6か月以内に[不服申立先担当自治体名]を被告として提起することができます。 なお、処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決を経た後（次の1から3までのいずれかに該当するときに除く。）でなければ提起することができないこととされています。 1 審査請求があった日から3か月を経過しても裁決がないとき。 2 処分、処分の執行又は手続の続行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき。 3 その他裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき。

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		03. 保険料賦課		帳票名称		01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
1	タイトル1 [相当年度]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、決定内容によって以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目（和暦表記） （印字例1：賦課決定通知） [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料額 決定通知書 （印字例2：賦課変更決定通知） [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料額 変更決定通知書	
2	通知書番号		●			機能・帳票要件における「文書番号」の扱いと同様とする	
3	発行年月日		●			和暦表記	
4	窓あき宛名		●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号	
5	案内文1 [相当年度]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、決定内容によって以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目（和暦表記） （印字例：賦課決定通知、賦課変更決定通知） [相当年度]年度分の後期高齢者医療保険料額を次のとおり決定（変更）しましたので通知します。	
6	広域連合の名称		●			パラメタにより出力有無を変更できること 広域連合＋広域連合長名 広域連合名の出力有無を変更できること 広域連合長名は機能・帳票要件（広域連合長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること	
7	広域連合の印		●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること 広域連合長の公印を出力する（年額通知部分のため）	
8	被保険者氏名		●				
9	被保険者番号		●				
10	性別		●			被保険者の性別	
11	生年月日		●			被保険者の生年月日	
12	住所		●			被保険者の住所 住所＋全角スペース＋方書	
13	決定年月日		●			和暦表記 決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 決定年月日 （印字例：賦課変更決定通知） 決定年月日 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”	
14	保険料額		●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 保険料額 （印字例：賦課変更決定通知） 保険料額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”	
15	決定（変更）理由		●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 決定理由 （印字例：賦課変更決定通知） 変更理由 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”	
16	案内文2 [広域連合][都道府県]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること [広域連合]：システム印字項目 [都道府県]：システム印字項目 （印字例） ※保険料額は、[広域連合]内においての保険料額です。 このため[都道府県]内で転居された方は原則として複数の自治体にお支払いいただくことになります。	
17	算定基礎タイトル		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） 保険料算定の基礎（算定方法は次紙をご覧ください）	
18	保険料算定の基礎 上段	区分	●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “決定” （印字例：賦課変更決定通知） “決定後” （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”	
19		所得金額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 所得金額 （印字例：賦課変更決定通知） 所得金額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”	

業務		帳票名称			01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
20	保険料算定の基礎 上段	所得割率	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 所得割率 （印字例：賦課変更決定通知） 所得割率 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
21		所得割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 所得割額 （印字例：賦課変更決定通知） 所得割額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
22		均等割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 均等割額 （印字例：賦課変更決定通知） 均等割額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
23		算出額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 算出額 （印字例：賦課変更決定通知） 算出額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
24		限度超過額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 限度超過額 （印字例：賦課変更決定通知） 限度超過額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
25		所得割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 所得割軽減額 （印字例：賦課変更決定通知） 所得割軽減額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
26		均等割軽減割合	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 均等割軽減割合 （印字例：賦課変更決定通知） 均等割軽減割合 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
27		均等割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 均等割軽減額 （印字例：賦課変更決定通知） 均等割軽減額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
28		年保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 年保険料額 （印字例：賦課変更決定通知） 年保険料額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”

業務			帳票名称			01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
29	保険料算定の基礎 上段	月数	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 月数 (印字例：賦課変更決定通知) 月数 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”	
30		月割減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 月割減額 (印字例：賦課変更決定通知) 月割減額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”	
31		保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 保険料額 (印字例：賦課変更決定通知) 保険料額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”	
32	保険料算定の基礎 下段	区分	●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “*” (印字例：賦課変更決定通知) “決定前” (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”	
33		所得金額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “*” (印字例：賦課変更決定通知) 決定前所得金額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”	
34		所得割率	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “*” (印字例：賦課変更決定通知) 決定前所得割率 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”	
35		所得割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “*” (印字例：賦課変更決定通知) 決定前所得割額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”	
36		均等割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “*” (印字例：賦課変更決定通知) 決定前均等割額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”	
37		算出額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “*” (印字例：賦課変更決定通知) 決定前算出額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”	

業務		帳票名称			01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
38	保険料算定の基礎 下段	限度超過額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 決定前限度超過額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
39		所得割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 決定前所得割軽減額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
40		均等割軽減割合	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 決定前均等割軽減割合 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
41		均等割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 決定前均等割軽減額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
42		年保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 決定前年保険料額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
43		月数	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 決定前月数 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
44		月割減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 決定前月割減額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
45		保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 決定前保険料額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
46	保険料の端数処理		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字す ること （印字例） ※100円未満切捨て
47	案内文 3		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている かつ 被用者保険の被扶養者軽 減の場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） 後期高齢者医療制度加入日の前日まで会社の健康保険など（国保・国保組合は 除く）の被扶養者だった方は、加入月から2年を経過する月までの間、こちらに 表示される金額が本年度分の保険料算定に含まれます。

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課		帳票名称			01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
48	保険料算定の基礎 被扶養者軽減 上段	区分	●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “決定” （印字例：賦課変更決定通知） “決定後” （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”	
49		均等割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 均等割額（被扶養者） （印字例：賦課変更決定通知） 均等割額（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”	
50		均等割軽減割合	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 均等割軽減割合（被扶養者） （印字例：賦課変更決定通知） 均等割軽減割合（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”	
51		均等割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 均等割軽減額（被扶養者） （印字例：賦課変更決定通知） 均等割軽減額（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”	
52		年保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 年保険料額（被扶養者） （印字例：賦課変更決定通知） 年保険料額（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”	
53		月数	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 月数（被扶養者） （印字例：賦課変更決定通知） 月数（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”	
54		月割減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 月割減額（被扶養者） （印字例：賦課変更決定通知） 月割減額（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”	
55	保険料算定の基礎 被扶養者軽減 下段	区分	●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） “決定前” （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”	
56		均等割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 決定前均等割額（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”	

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課		帳票名称			01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
57	保険料算定の基礎 被扶養者軽減 下段	均等割軽減割合	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “*” (印字例：賦課変更決定通知) 決定前均等割軽減割合（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”	
58		均等割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “*” (印字例：賦課変更決定通知) 決定前均等割軽減額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”	
59		年保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “*” (印字例：賦課変更決定通知) 決定前年保険料額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”	
60		月数	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “*” (印字例：賦課変更決定通知) 決定前月数（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”	
61		月割減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “*” (印字例：賦課変更決定通知) 決定前月割減額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”	
62	タイトル2 [相当年度]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、決定内容によって以下の 例のように設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目（和暦表記） (印字例 1 納入通知) [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 (印字例 2 変更通知) [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料 納入通知書 兼 特別徴収額変更・中 止通知書	
63	案内文 4 [相当年度]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、決定内容によって以下の 例のように設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目（和暦表記） (印字例) [相当年度]年度分の後期高齢者医療保険料額を次のとおり徴収することに決定 （変更）しましたので通知します。	
64	自治体の名称		●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること	
65	自治体の印		●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること 登録されている自治体の長（もしくは職務代理人）の公印	
66	徴収決定年月日		●			和暦表記	
67	自治体別保険料額タイトル		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定さ れた文言を印字すること (印字例) 自自治体に納付する保険料額（A）＋（B）	
68	自治体別保険料額		●				
69	決定(変更)理由		●				
70	特別徴収期割額タイトル		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定さ れた文言を印字すること (印字例) 特別徴収分の納付期割額（年金からのお支払い）	
71	特徴合計タイトル		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定さ れた文言を印字すること (印字例) （A）合計額	

業務	03. 保険料賦課		帳票名称			01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
72	特別徴収期割額 上段	区分	●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること （印字例：納入通知） “決定” （印字例：変更通知） “決定後”	
73		特徴 1 期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 特徴 1 期保険料額 （変更通知） 特徴 1 期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字 し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。	
74		特徴 2 期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 特徴 2 期保険料額 （変更通知） 特徴 2 期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字 し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。	
75		特徴 3 期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 特徴 3 期保険料額 （変更通知） 特徴 3 期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字 し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。	
76		特徴 4 期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 特徴 4 期保険料額 （変更通知） 特徴 4 期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字 し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。	
77		特徴 5 期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 特徴 5 期保険料額 （変更通知） 特徴 5 期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字 し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。	
78		特徴 6 期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 特徴 6 期保険料額 （変更通知） 特徴 6 期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字 し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。	
79		特徴合計額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 特徴保険料合計額 （変更通知） 特徴保険料合計額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字 し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。	
80	特別徴収期割額 下段	区分	●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること （印字例：納入通知） “*” （印字例：変更通知） “決定前”	
81		特徴 1 期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 決定前特徴 1 期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字 し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。	
82		特徴 2 期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 決定前特徴 2 期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字 し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。	
83		特徴 3 期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 決定前特徴 3 期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字 し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。	

業務			帳票名称			01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
84	特別徴収期割額 下段	特徴 4 期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 決定前特徴 4 期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。	
85		特徴 5 期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 決定前特徴 5 期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。	
86		特徴 6 期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 決定前特徴 6 期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。	
87		特徴合計額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 決定前特徴保険料合計額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。	
88	案内文 5		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） ◆世帯の構成や所得に変更が無い場合、翌年度の仮徴収額は特徴 6 期の金額と同額です。	
89	納付方法タイトル 1		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） あなた様の納付方法は下記のとおりです。	
90	納付方法タイトル 2		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） 変 更 前	
91	納付方法タイトル 3		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） 変 更 後	
92	備考（固定文言 1）		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 普通徴収分口座情報	
93	納付方法 決定前	納付方法	●			決定前期割内容によって文言マスタに設定された以下の内容を印字すること （印字例：特徴のみ） “年金からの支払い” （印字例：普徴のみ口座なし） “納付書払い” （印字例：普徴のみ口座あり（全期振替の場合）） “口座振替（全期前納引落）” （印字例：普徴のみ口座あり（期別振替の場合）） “口座振替（期別引落）” （印字例：併徴かつ口座なし） “納付書払いと年金からの支払い” （印字例：併徴かつ口座あり） “口座振替と年金からの支払い”	
94		特別徴収義務者	●			決定前期割内容によって以下の内容を印字すること （印字例：特徴期あり） 特別徴収義務者 （印字例：特徴期なし） “*”	
95		特別徴収対象年金	●			決定前期割内容によって以下の内容を印字すること （印字例：特徴期あり） 特別徴収対象年金 （印字例：特徴期なし） “*”	
96		固定文言 2 + 編集 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること （想定される印字項目） 金融機関名、支店名、口座名義人 等	

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課		帳票名称		01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
97	納付方法 決定後	納付方法	●			決定後期割内容によって文言マスタに設定された以下の内容を印字すること （印字例：特徴のみ） “年金からの支払い” （印字例：普徴のみ口座なし） “納付書払い” （印字例：普徴のみ口座あり（全期振替の場合）） “口座振替（全期前納引落）” （印字例：普徴のみ口座あり（期別振替の場合）） “口座振替（期別引落）” （印字例：併徴かつ口座なし） “納付書払いと年金からの支払い” （印字例：併徴かつ口座あり） “口座振替と年金からの支払い”
98		特別徴収義務者	●			決定後期割内容によって以下の内容を印字すること （印字例：特徴期あり） 特別徴収義務者 （印字例：特徴期なし） “*”
99		特別徴収対象年金	●			決定後期割内容によって以下の内容を印字すること （印字例：特徴期あり） 特別徴収対象年金 （印字例：特徴期なし） “*”
100		固定文言 3＋編集 2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること （想定される印字項目） 金融機関名、支店名、口座名義人 等
101	案内文 6 [発行年月日]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること [発行年月日]：システム印字項目（和暦表記） （印字例） ◆口座情報は、通知日（ [発行年月日] ）時点にご登録のある口座を記載しています。また、口座名義人は先頭から 20 文字を記載しています。
102	普通徴収期割額タイトル		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） 普通徴収分の納付期割額（年金からのお支払い）
103	普徴期 1 タイトル		●			システム設定により、普徴開始期から以下の例のようなシステムにて編集した文言を普徴期 1 から印字すること （各市区町村の納期に応じてタイトルを設定（不要な箇所は空欄）できること）
104	普徴期 2 タイトル		●			（印字例：7 月開始で通常期が 8 期の場合） 7 月（1 期）、8 月（2 期）、9 月（3 期）、10 月（4 期）、11 月（5 期）、12 月（6 期）、1 月（7 期）、2 月（8 期） （印字例：7 月開始で通常期が 8 期かつ途中資格取得等により 10 月からの期割となった場合） 10 月（4 期）、11 月（5 期）、12 月（6 期）、1 月（7 期）、2 月（8 期） 随時期が発生した場合は、通常期のあとに以下の例のようなシステムにて編集した文言を通常期の後から印字する。 （印字例：7 月開始で通常期が 8 期で、現年随時期が発生した場合） 7 月（1 期）、8 月（2 期）、9 月（3 期）、10 月（4 期）、11 月（5 期）、12 月（6 期）、1 月（7 期）、2 月（8 期）、3 月（随時） 随時期を含め 15 以上の期別が発生した場合は、通知を複数頁（説明文の印刷頁を含まず）とし、システムにて編集した文言を以下の例のように印字する。 （印字例：4 月開始で通常期が 12 期で、過年随時期が 3 期分、過々年随時期が 2 期分発生した場合） < 1 頁目 > 4 月（1 期）、5 月（2 期）、6 月（3 期）、7 月（4 期）、8 月（5 期）、9 月（6 期）、10 月（7 期）、11 月（8 期）、12 月（9 期）、1 月（10 期）、2 月（11 期）、3 月（12 期）、4 月（過年）、6 月（過年） < 2 頁目 > 10 月（過年）、10 月（過々年）、1 月（過々年）
105	普徴期 3 タイトル		●			
106	普徴期 4 タイトル		●			
107	普徴期 5 タイトル		●			
108	普徴期 6 タイトル		●			
109	普徴期 7 タイトル		●			
110	普徴期 8 タイトル		●			
111	普徴期 9 タイトル		●			
112	普徴期 10 タイトル		●			
113	普徴期 11 タイトル		●			
114	普徴期 12 タイトル		●			
115	普徴期 13 タイトル（過年分）		●			
116	普徴期 14 タイトル（過年分）		●			
117	普徴合計タイトル		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） （B）合計額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。
118	納期限	普徴期 1 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 1 あり） 普通徴収期 1 納期限 （普通徴収期 1 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 1 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。

業務		03. 保険料賦課		帳票名称		01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
119	納期限	普徴期 2 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 2 あり） 普通徴収期 2 納期限 （普通徴収期 2 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 2 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。	
120		普徴期 3 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 3 あり） 普通徴収期 3 納期限 （普通徴収期 3 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 3 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。	
121		普徴期 4 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 4 あり） 普通徴収期 4 納期限 （普通徴収期 4 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 4 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。	
122		普徴期 5 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 5 あり） 普通徴収期 5 納期限 （普通徴収期 5 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 5 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。	
123		普徴期 6 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 6 あり） 普通徴収期 6 納期限 （普通徴収期 6 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 6 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。	
124		普徴期 7 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 7 あり） 普通徴収期 7 納期限 （普通徴収期 7 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 7 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。	
125		普徴期 8 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 8 あり） 普通徴収期 8 納期限 （普通徴収期 8 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 8 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。	
126		普徴期 9 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 9 あり） 普通徴収期 9 納期限 （普通徴収期 9 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 9 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。	
127		普徴期 1 0 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 1 0 あり） 普通徴収期 1 0 納期限 （普通徴収期 1 0 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 1 0 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。	
128		普徴期 1 1 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 1 1 あり） 普通徴収期 1 1 納期限 （普通徴収期 1 1 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 1 1 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。	
129	普徴期 1 2 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 1 2 あり） 普通徴収期 1 2 納期限 （普通徴収期 1 2 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 1 2 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。		
130	普徴期 1 3 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 1 3 あり） 普通徴収期 1 3 納期限 （普通徴収期 1 3 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 1 3 タイトル（過年分）の印字対象と同じ期別の納期限を印字する。		
131	普徴期 1 4 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 1 4 あり） 普通徴収期 1 4 納期限 （普通徴収期 1 4 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 1 4 タイトル（過年分）の印字対象と同じ期別の納期限を印字する。		

業務	03. 保険料賦課		帳票名称			01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
132	普通徴収期割額 上段	区分	●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること （印字例：納入通知） “決定” （印字例：変更通知） “決定後”	
133		普徴期 1 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 1 保険料額 （変更通知） 普徴期 1 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印 字する。	
134		普徴期 2 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 2 保険料額 （変更通知） 普徴期 2 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 2 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印 字する。	
135		普徴期 3 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 3 保険料額 （変更通知） 普徴期 3 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 3 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印 字する。	
136		普徴期 4 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 4 保険料額 （変更通知） 普徴期 4 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 4 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印 字する。	
137		普徴期 5 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 5 保険料額 （変更通知） 普徴期 5 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 5 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印 字する。	
138		普徴期 6 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 6 保険料額 （変更通知） 普徴期 6 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 6 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印 字する。	
139		普徴期 7 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 7 保険料額 （変更通知） 普徴期 7 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 7 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印 字する。	
140		普徴期 8 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 8 保険料額 （変更通知） 普徴期 8 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 8 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印 字する。	
141		普徴期 9 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 9 保険料額 （変更通知） 普徴期 9 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 9 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印 字する。	
142		普徴期 1 0 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 1 0 保険料額 （変更通知） 普徴期 1 0 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 0 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を 印字する。	
143		普徴期 1 1 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 1 1 保険料額 （変更通知） 普徴期 1 1 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 1 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を 印字する。	

業務	03. 保険料賦課		帳票名称			01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
144	普通徴収期割額 上段	普徴期 1 2 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 1 2 保険料額 （変更通知） 普徴期 1 2 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 2 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を 印字する。	
145		普徴期 1 3 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 1 3 保険料額 （変更通知） 普徴期 1 3 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 3 タイトル（過年分）の印字対象と同じ期別の 保険料額を印字する。	
146		普徴期 1 4 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 1 4 保険料額 （変更通知） 普徴期 1 4 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 4 タイトル（過年分）の印字対象と同じ期別の 保険料額を印字する。	
147		普徴合計額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴保険料合計額 （変更通知） 普徴保険料合計額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字 し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。	
148	普通徴収期割額 下段	区分	●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された以下の内容を印字す ること （印字例：納入通知） “*” （印字例：変更通知） “決定前”	
149		普徴期 1 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 決定前普徴期 1 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料 額を印字する。	
150		普徴期 2 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 決定前普徴期 2 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 2 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料 額を印字する。	
151		普徴期 3 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 決定前普徴期 3 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 3 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料 額を印字する。	
152		普徴期 4 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 決定前普徴期 4 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 4 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料 額を印字する。	
153		普徴期 5 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 決定前普徴期 5 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 5 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料 額を印字する。	
154		普徴期 6 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 決定前普徴期 6 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 6 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料 額を印字する。	
155		普徴期 7 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 決定前普徴期 7 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 7 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料 額を印字する。	

業務		03. 保険料賦課		帳票名称		01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】	
通番	システム印字項目			実装項目			印字編集条件など
				必須	オプション	不可	
156	普通徴収期割額 下段	普徴期 8 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 決定前普徴期 8 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 8 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。	
157		普徴期 9 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 決定前普徴期 9 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 9 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。	
158		普徴期 1 0 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 決定前普徴期 1 0 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 0 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。	
159		普徴期 1 1 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 決定前普徴期 1 1 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 1 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。	
160		普徴期 1 2 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 決定前普徴期 1 2 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 2 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。	
161		普徴期 1 3 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 決定前普徴通常期 1 3 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 3 タイトル（過年分）の印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。	
162		普徴期 1 4 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 決定前普徴通常期 1 4 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 4 タイトル（過年分）の印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。	
163		普徴合計額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 決定前普徴保険料合計額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。	
164	案内文 7		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） ◆納期限は各月末日です。（金融機関が休みのときは、翌営業日）。なお、口座振替は納期限が引落日になります。	
165	案内文 8		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） ◆区分に「過年」の記載がある場合は、お支払いいただく年度が過ぎて保険料が決定した分です。	
166	ページ数		●			最終ページ（説明文 1、説明文 2 の印刷ページ）を除いたページ数	
167	総ページ数		●			最終ページ（説明文 1、説明文 2 の印刷ページ）を除いた総ページ数	
168	問い合わせ先	担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名＋部署名	
169		担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号＋全角スペース＋住所	
170		担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定	
171		担当部署FAX番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること	
172		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること	

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称			01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
173	案内文 9	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） 左記の問い合わせ先は保険料額についての問い合わせ先となります。保険料のお支払い方法、還付、納付相談については、次紙に記載の問い合わせ先にご連絡ください。 その他の各種お手続きについても次紙に記載の各問い合わせ先へご連絡ください。
174	説明文 1	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、通知書の最終頁として以下の例のように設定された文言を印字すること なお、可変項目については広域標準システムにおける印字編集条件に準ずることとする （印字例） * 後期高齢者医療保険料は、高齢者の医療の確保に関する法律及び4×××後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の規定に基づき、2× 2年 2月 2日現在の後期高齢者医療制度の被保険者に対して賦課されたものです。 * 保険料の算出方法は以下のとおりです。 所得割額＝賦課のもととなる所得金額（※ 1 × 所得割合（ 50000／100 ） } 確定年保険料 均等割額＝ 7000000円 } [2万円を限度とする] なお、2× 2年 4月 1日以降に保険料の納付義務が発生又は消滅したときは月割りにて算定します。 ※ 1 賦課のもととなる所得金額 ＝2× 2年中の所得－3万円 * 所得が低い方に対する軽減 ※ 世帯内の後期高齢者医療制度の被保険者全員と世帯主の総所得金額等の合計額が以下のいずれかに該当する場合、均等割額から次の額が軽減されます。 3万円以下

帳票詳細要件 後期高齢者支援システム

業務			03. 保険料賦課		帳票名称		02	後期高齢者医療暫定保険料額決定通知書 兼 納入通知書	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など			
			必須	オプション	不可				
1	通知書番号		●			機能・帳票要件における「文書番号」の扱いと同様とする			
2	発行年月日		●			和暦表記			
3	窓あき宛名		●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号			
4	広域連合の名称		●			パラメタにより出力有無を変更できること 広域連合＋広域連合長名 広域連合名の出力有無を変更できること 広域連合長名は機能・帳票要件（広域連合長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること			
5	広域連合の印		●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること 広域連合長の公印を出力する			
6	タイトル 1		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する (印字例) 後期高齢者医療暫定保険料額決定通知書			
7	案内文 1 [相当年度]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目（和暦表記） (印字例) ※[相当年度]年度分の後期高齢者医療保険料額を次のとおり決定しましたので通知します。			
8	被保険者氏名		●						
9	被保険者番号		●						
10	決定年月日		●			和暦表記			
11	決定理由		●						
12	暫定保険料額		●						
13	算定基礎タイトル		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) 保険料算定の基礎（算定方法は次紙をご覧ください）			
14	前年度保険料額		●						
15	暫定期数		●						
16	年間期数		●						
17	暫定保険料額		●						
18	案内文 2		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること なお、可変項目については広域標準システムにおける印字編集条件に準ずることとする (印字例) ＊ 後期高齢者医療保険料は、高齢者の医療の確保に関する法律及び4 X X X 後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の規定によって、2 X 2X年2X月 2X日現在の後期高齢者医療の被保険者に対して賦課されたものです。			
19	タイトル 2 [相当年度]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目（和暦表記） (印字例) [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料 納入通知書			
20	自治体の名称		●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること			
21	自治体の印		●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること 登録されている自治体の長（もしくは職務代理人）の公印			
22	案内文 3 [相当年度]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目（和暦表記） (印字例) [相当年度]年度分の後期高齢者医療保険料額を次のとおり徴収することに決定しましたので通知します。			
23	決定理由		●						
24	徴収決定年月日		●			和暦表記			
25	自治体別保険料額タイトル		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) 自自治体に納付する保険料額			
26	自治体別保険料額		●						
27	納付方法タイトル 1		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) あなた様の納付方法は下記のとおりです。			
28	納付方法	納付方法	●			決定後期割内容によって文言マスタに設定された以下の内容を印字すること (印字例：口座なし) 〃納付書払い〃 (印字例：口座あり(全期振替の場合)) 〃口座振替 (全期前納引落)〃 (印字例：口座あり(期別振替の場合)) 〃口座振替 (期別引落)〃			
29		備考（固定文言 1）	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 普通徴収分口座情報			
30		固定文言 2 ＋ 編集 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 金融機関名、支店名、口座名義人 等			

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課		帳票名称			02 後期高齢者医療暫定保険料額決定通知書 兼 納入通知書
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
31	期別保険料額	普徴期 1 タイトル	●			システム設定により、普徴開始期から以下の例のようなシステムにて編集した文言を普徴期 1 から印字すること (印字例) 1 期、2 期、3 期
32		普徴期 2 タイトル	●			
33		普徴期 3 タイトル	●			
34		普徴期 1 保険料額	●			普徴期 1 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
35		普徴期 2 保険料額	●			普徴期 2 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 2 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
36		普徴期 3 保険料額	●			普徴期 3 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 3 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
37		普徴期 1 納期限	●			普通徴収期 1 納期限 ※出力対象の納期限は普徴期 1 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
38		普徴期 2 納期限	●			普通徴収期 2 納期限 ※出力対象の納期限は普徴期 2 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
39		普徴期 3 納期限	●			普通徴収期 3 納期限 ※出力対象の納期限は普徴期 3 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
40		合計額	●			普徴保険料合計額
41	案内文 4		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) ◆本年度の確定後の保険料は、7 月中旬にあらかじめ通知します。 ◆口座情報は、通知日時点にご登録のある口座を記載しています。また、口座名義人は先頭から 2 0 文字を記載しています。 ◆納期限は各月末日です。(金融機関が休みのときは、翌営業日)。なお、口座振替は納期限が引落日になります。 ◆下記問い合わせ先は保険料額についての問い合わせ先となります。保険料のお支払い方法、還付、納付相談については、裏面に記載の問い合わせ先にご連絡ください。 その他の各種お手続きについても次紙に記載の各問い合わせ先へご連絡ください。
42	問い合わせ先	担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名＋部署名
43		担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号＋全角スペース＋住所
44		担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定
45		担当部署FAX番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
46		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること
47	説明文 1		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [不服申立先担当部署名]: システム印字項目 (マスタ管理している不服申立先情報を設定 (例: 後期高齢者医療審査会名等を設定)) [不服申立先担当自治体名]: システム印字項目 (マスタ管理している不服申立先情報を設定 (提起先組織名。例: 後期高齢者医療広域連合名等を設定)) (想定される印字内容) 普通徴収 (納付書払い) の場合の納入場所、問い合わせ先、不服申立および取消訴訟 等 (不服申し立ての印字例) 不服の申立 この通知について不服があるときは、この通知書を受け取った日の翌日から起算して 3 か月以内に[不服申立先担当部署名]に対し審査請求をすることができます。また、この処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決書を受け取った日の翌日から起算して 6 か月以内に[不服申立先担当自治体名]を被告として提起することができます。 なお、処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決を経た後 (次の 1 から 3 までのいずれかに該当するものを除く。) でなければ提起することができないこととされています。 1 審査請求があった日から 3 か月を経過しても裁決がないとき。 2 処分、処分の執行又は手続の続行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき。 3 その他裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき。

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課		帳票名称			03	保険料額決定通知書 兼 特別徴収仮徴収開始通知書 兼 納入通知書 保険料額変更通知書 兼 特別徴収仮徴収変更通知書 兼 納入通知書 保険料額変更通知書 兼 特別徴収仮徴収中止通知書 兼 納入通知書
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
1	通知書番号		●			機能・帳票要件における「文書番号」の扱いと同様とする	
2	発行年月日		●			和暦表記	
3	窓あき宛名		●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号	
4	広域連合の名称		●			パラメタにより出力有無を変更できること 広域連合＋広域連合長名 広域連合名の出力有無を変更できること 広域連合長名は機能・帳票要件（広域連合長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること	
5	広域連合の印		●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること 広域連合長の公印を出力する	
6	タイトル 1		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する （印字例：仮徴収開始通知） 後期高齢者医療保険料仮徴収額決定通知書 （印字例：仮徴収変更通知） 後期高齢者医療保険料仮徴収額変更決定通知書 （印字例：仮徴収中止通知） 後期高齢者医療保険料仮徴収額変更決定通知書	
7	案内文 1 [相当年度]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目（和暦表記） （印字例） [相当年度]年度分の後期高齢者医療保険料仮徴収額を次のとおり決定しましたので通知します。	
8	被保険者氏名		●				
9	被保険者番号		●				
10	性別		●			被保険者の性別	
11	生年月日		●			被保険者の生年月日	
12	住所		●			被保険者の住所 住所＋全角スペース＋方書	
13	決定年月日		●			和暦表記	
14	決定理由		●				
15	仮徴収合計額	区分 1	●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること （印字例：仮徴収開始通知） “仮徴収額合計” （印字例：仮徴収変更通知、仮徴収中止通知） “変更後仮徴収額合計”	
16		仮徴収合計額 1	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：仮徴収開始通知） 仮徴収額合計 （印字例：仮徴収変更通知、仮徴収中止通知） 変更後仮徴収額合計	
17		区分 2	●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること （印字例：仮徴収開始通知） “*” （印字例：仮徴収変更通知、仮徴収中止通知） “変更前仮徴収額合計”	
18		仮徴収合計額 2	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：仮徴収開始通知） “*” （印字例：仮徴収変更通知、仮徴収中止通知） 変更前仮徴収額合計	
19	案内文 2		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、決定内容によって以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例：仮徴収開始通知） 決定した仮徴収額は前年度の保険料から算定した、仮徴収期（４月から８月）に年金からお納めいただく保険料額です。 （印字例：仮徴収変更通知） 決定した仮徴収額は、仮徴収期（４月から８月）に年金からお納めいただく保険料額です。	
20	タイトル 2 [相当年度]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目（和暦表記） （印字例） [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料 納入通知書	
21	自治体の名称		●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること	
22	自治体の印		●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること 登録されている自治体の長（もしくは職務代理人）の公印	

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	03 保険料額決定通知書 兼 特別徴収仮徴収開始通知書 兼 納入通知書 保険料額変更通知書 兼 特別徴収仮徴収変更通知書 兼 納入通知書 保険料額変更通知書 兼 特別徴収仮徴収中止通知書 兼 納入通知書
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
23	案内文 3 [相当年度]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度]: システム印字項目 (和暦表記) (印字例) [相当年度] 年度分の後期高齢者医療保険料額を次のとおり徴収することに決定しましたので通知します。
24	納付方法タイトル		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) あなた様の納付方法は下記のとおりです。
25	納付方法	納付方法	●			特別徴収
26		特別徴収義務者	●			
27		特別徴収対象年金	●			
28	期別保険料額 区分 3 列	区分 3	●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること (印字例: 仮徴収開始通知) “決定” (印字例: 仮徴収変更通知、仮徴収中止通知) “変更後”
29		特別徴収される保険料額 (4 月分)	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例: 仮徴収開始通知) 特徴 1 期保険料額 (印字例: 仮徴収変更通知、仮徴収中止通知) 特徴 1 期保険料額
30		特別徴収される保険料額 (6 月分)	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例: 仮徴収開始通知) 特徴 2 期保険料額 (印字例: 仮徴収変更通知、仮徴収中止通知) 特徴 2 期保険料額
31		特別徴収される保険料額 (8 月分)	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例: 仮徴収開始通知) 特徴 3 期保険料額 (印字例: 仮徴収変更通知、仮徴収中止通知) 特徴 3 期保険料額
32		仮徴収額合計	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例: 仮徴収開始通知) 仮徴収額合計 (印字例: 仮徴収変更通知、仮徴収中止通知) 仮徴収額合計
33	期別保険料額 区分 4 列	区分 4				決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること (印字例: 仮徴収開始通知) “*” (印字例: 仮徴収変更通知、仮徴収中止通知) “変更前”
34		特別徴収される保険料額 (4 月分)	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例: 仮徴収開始通知) “*” (印字例: 仮徴収変更通知、仮徴収中止通知) 変更前特徴 1 期保険料額
35		特別徴収される保険料額 (6 月分)	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例: 仮徴収開始通知) “*” (印字例: 仮徴収変更通知、仮徴収中止通知) 変更前特徴 2 期保険料額
36		特別徴収される保険料額 (8 月分)	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例: 仮徴収開始通知) “*” (印字例: 仮徴収変更通知、仮徴収中止通知) 変更前特徴 3 期保険料額
37		仮徴収額合計	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例: 仮徴収開始通知) “*” (印字例: 仮徴収変更通知、仮徴収中止通知) 変更前仮徴収額合計
38	案内文 4		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) 本年度の確定後の保険料は、7 月中旬にあらためて通知します。
39	問い合わせ先	担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名＋部署名
40		担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号＋全角スペース＋住所
41		担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定
42		担当部署FAX番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
43		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること

業務	03. 保険料賦課		帳票名称			03	保険料額決定通知書 兼 特別徴収仮徴収開始通知書 兼 納入通知書 保険料額変更通知書 兼 特別徴収仮徴収変更通知書 兼 納入通知書 保険料額変更通知書 兼 特別徴収仮徴収中止通知書 兼 納入通知書
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
44	不服の申立	教示文[不服申立先担当部署名][不服申立先担当自治体名]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [不服申立先担当部署名]：システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（例：後期高齢者医療審査会名等を設定） [不服申立先担当自治体名]：システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（提起先組織名。例：後期高齢者医療広域連合名等を設定）（印字例） 不服の申立 この通知について不服があるときは、この通知書を受け取った日の翌日から起算して3か月以内に[不服申立先担当部署名]に対し審査請求をすることができます。また、この処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決書を受け取った日の翌日から起算して6か月以内に[不服申立先担当自治体名]を被告として提起することができます。 なお、処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決を経た後（次の1から3までのいずれかに該当するときに除く。）でなければ提起することができないこととされています。 1 審査請求があった日から3か月を経過しても裁決がないとき。 2 処分、処分の執行又は手続の続行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき。 3 その他裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき。	
45		不服申立先担当部署郵便番号	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定	
46		不服申立先担当部署住所	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定	
47		不服申立先担当部署電話番号	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定	

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		03. 保険料賦課		帳票名称		04 後期高齢者医療保険料口座振替開始（変更）のお知らせ
通番	システム印字項目		実装項目		印字編集条件など	
			必須	オプション	不可	
1	文書番号		●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする
2	発行年月日		●			和暦表記
3	宛名		●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、 対象者氏名 、カスタマバーコード、 対象者番号
4	自治体の名称		●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
5	自治体の印		●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること
6	タイトル		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する (印字例) 口座振替開始（変更）のお知らせ
7	案内文		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する (印字例) 口座振替にご加入いただきありがとうございます。口座振替開始（変更）の手続が完了しましたので、下記のとおり、あなたの後期高齢者医療保険料について口座振替を行います。内容につきまして、ご確認ください。 万が一、指定口座の情報に相違あるいはご不審な点がございましたら、●●課へご連絡ください。
8	被保険者氏名		●			
9	被保険者番号		●			
10	口座振替開始年月		●			和暦表記 印字する場合は以下の形式で印字すること (印字例) 令和●●年●●月分から
11	振替開始期別		●			年度＋期別 (印字例) (令和●●年●●期)
12	補足説明文 1		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する。なお、口座情報に対象者の振替区分が「全期前納」として登録されている場合は、印字例（全期前納）を出力する。 (印字例) 以降、納期限が到来する期別について口座振替を開始いたします ※納期限については、お手元の納入通知書をご参照ください (印字例（全期前納）) ※全期前納の場合、上記に記載した期の納期限の日に1年分の保険料額をご指定の口座から振替します。 なお、年度の途中（第2期以降）から振替方法「全期前納」を申し込んでいる場合は、その開始の年度は各期で振替をおこない、翌年度から全期前納での振替となりますので、ご注意ください。
13	振替口座	金融機関名	●			
14		金融機関支店名	●			
15		口座種目	●			
16		口座番号	●			機能・帳票要件における口座番号マスク機能の要件に準じた出力内容とする
17		口座名義人	●			半角カナで印字すること
18	補足説明文 2		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する (印字例) ・後期高齢者医療保険料の口座振替日は毎月末日です。ただし、振替日が金融機関等の休業日（土・日・祝日・年末年始）に当たる場合は、翌営業日になります。
19	問合せ先	担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名＋部署名
20		担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号＋全角スペース＋住所
21		担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定
22		担当部署FAX番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
23		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務			03. 保険料賦課		帳票名称		05 納付書1（カク公）	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など		
			必須	オプション	不可			
1	納入済通知書	賦課年度	●			和暦表記		
2		納付合計金額	●					
3		収納機関番号		●		出力有無を選択可能とすること （マルチペイメントを使用する際に使用）		
4		納付番号		●		納付書管理番号、出力有無を選択可能とすること （マルチペイメントを使用する際に使用）		
5		確認番号		●		出力有無を選択可能とすること （マルチペイメントを使用する際に使用。採番について規定されたルールはなく、納付書管理番号とペアで使用することで誤入力などにより誤った納付が行われることを防止している。）		
6		納付区分		●		納付書納付区分、出力有無を選択可能とすること （マルチペイメントを使用する際に使用）		
7		相当年度	●			和暦表記		
8		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別 + “期” ③複数期の場合、開始期別 + “期” + “～” + 終了期別 + “期”		
9		通知書番号	●					
10		取扱期限	●			和暦表記		
11		OCR	●					
12		バーコード	●			出力有無を選択可能とすること （コンビニ収納の実施有無は自治体ごとに差異があるため） コンビニ納付の上限額を超過する場合、 「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示		
13	QRコード			●		JPQR統一規格の仕様に準拠したQRコードを出力すること （金融機関での支払いではなく、コンビニやスマートフォンアプリでの支払いに使用するQRコードを印刷する想定） 出力有無を選択可能とすること ※本仕様書は日本マルチペイメントネットワーク推進協議会（JAMPA）より公開されている資料（準備編「サービス開始までの準備概要とFAQ」）で指定されているQRコードの印刷位置に基づいて作成 ※「地方税におけるQRコード規格に係る検討会／地方税統一QRコードの活用に係る検討会」にて地方税統一QRコードの印刷位置が検討されているが、対象は税であり、料ではないため本仕様書上、地方税統一QRコードは考慮していない （ P ） QRコードの納付書上の印字位置については金融機関等と調整中のため、一時的に帳票レイアウトからは削除中。調整結果を踏まえて再反映予定)		
14	原符兼払込金受領証	被保険者氏名	●					
15		賦課年度	●			和暦表記		
16		納付合計金額	●					
17		取扱期限	●			和暦表記		
18		被保険者氏名	●					
19		納付番号		●		納付書管理番号、出力有無を選択可能とすること		
20		確認番号		●		出力有無を選択可能とすること		
21		納付区分		●		納付書納付区分、出力有無を選択可能とすること		
22	賦課年度	●			和暦表記			
23	相当年度	●			和暦表記			
24	通知書番号	●						
25	期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別 + “期” ③複数期の場合、開始期別 + “期” + “～” + 終了期別 + “期”			
26	領収証書	賦課年度	●			和暦表記		
27		宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、 対象者氏名 、カスタマバーコード、 対象者番号		
28		発行年月日	●			和暦表記		
29		自治体の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること		
30		自治体の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること		
31		被保険者氏名	●					
32		被保険者番号	●					
33		備考 5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 賦番 等		
34		編集 5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 賦課管理番号 等		
35		賦課年度	●			和暦表記		
36		相当年度	●			和暦表記		
37		通知書番号	●					
38		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別 + “期” + “（●月分）” ③複数期の場合、開始期別 + “期” + “（●月分）” + “～” + 終了期別 + “期” + “（●月分）”		
39		納付番号		●		納付書管理番号、出力有無を選択可能とすること		
40		確認番号		●		出力有無を選択可能とすること		
41		納付区分		●		納付書納付区分、出力有無を選択可能とすること		
42		納付金額	●			納付金額（末尾に“円”を付与すること）		
43		延滞金	●			延滞金（末尾に“円”を付与すること）		

業務			03. 保険料賦課		帳票名称		05 納付書1 (カク公)	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など		
			必須	オプション	不可			
44		備考 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等		
45		編集 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料 (末尾に “円” を付与すること) 等		
46	領収証書	備考 2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等		
47		編集 2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額 (末尾に “円” を付与すること) 等		
48		備考 3	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納期限 等		
49		編集 3	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納期限 等		
50		備考 4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等		
51		編集 4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 取扱期限 等		

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	06 連帳納付書1（カク公）
----	-----------	------	----------------

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
1	納入済通知書	賦課年度	●			和暦表記
2		納付合計金額	●			
3		収納機関番号		●		出力有無を選択可能とすること (マルチペイメントを使用する際に使用)
4		納付番号		●		納付書管理番号、出力有無を選択可能とすること (マルチペイメントを使用する際に使用)
5		確認番号		●		出力有無を選択可能とすること (マルチペイメントを使用する際に使用。採番について規定されたルールはなく、納付書管理番号とペアで使用することで誤入力などにより誤った納付が行われることを防止している。)
6		納付区分		●		納付書納付区分、出力有無を選択可能とすること (マルチペイメントを使用する際に使用)
7		相当年度	●			和暦表記
8		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別 + “期” ③複数期の場合、開始期別 + “期” + “～” + 終了期別 + “期”
9		通知書番号	●			
10		取扱期限	●			和暦表記
11		OCR	●			
12		バーコード	●			出力有無を選択可能とすること (コンビニ収納の実施有無は自治体ごとに差異があるため) コンビニ納付の上限額を超過する場合、 「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示
13		QRコード		●		JPQR統一規格の仕様に準拠したQRコードを出力すること (金融機関での支払いではなく、コンビニやスマートフォンアプリでの支払いに使用するQRコードを印刷する想定) 出力有無を選択可能とすること ※本仕様書は日本マルチペイメントネットワーク推進協議会（JAMPA）より公開されている資料（準備編「サービス開始までの準備概要とFAQ」）で指定されているQRコードの印刷位置に基づいて作成 ※「地方税におけるQRコード規格に係る検討会／地方税統一QRコードの活用に係る検討会」にて地方税統一QRコードの印刷位置が検討されているが、対象は税であり、料ではないため本仕様書上、地方税統一QRコードは考慮していない (P) QRコードの納付書上の印字位置については金融機関等と調整中のため、一時的に帳票レイアウトからは削除中。調整結果を踏まえて再反映予定)
14	原符兼払込金受領証	被保険者氏名	●			
15		賦課年度	●			和暦表記
16		納付合計金額	●			
17		取扱期限	●			和暦表記
18		被保険者氏名	●			
19		納付番号		●		納付書管理番号、出力有無を選択可能とすること
20		確認番号		●		出力有無を選択可能とすること
21		納付区分		●		納付書納付区分、出力有無を選択可能とすること
22		賦課年度	●			和暦表記
23		相当年度	●			和暦表記
24		通知書番号	●			
25	領収証書	期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別 + “期” ③複数期の場合、開始期別 + “期” + “～” + 終了期別 + “期”
26		被保険者氏名	●			
27		被保険者番号	●			
28		備考 5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 賦番 等
29		編集 5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号 等
30		賦課年度	●			和暦表記
31		相当年度	●			和暦表記
32		通知書番号	●			
33		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別 + “期” + “(●月分)” ③複数期の場合、開始期別 + “期” + “(●月分)” + “～” + 終了期別 + “期” + “(●月分)”
34		納付番号		●		納付書管理番号、出力有無を選択可能とすること
35		確認番号		●		出力有無を選択可能とすること
36		納付区分		●		納付書納付区分、出力有無を選択可能とすること
37		納付金額	●			納付金額(末尾に“円”を付与すること)
38		延滞金	●			延滞金(末尾に“円”を付与すること)
39		備考 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等
40		編集 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料(末尾に“円”を付与すること) 等
41		備考 2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等
42		編集 2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額(末尾に“円”を付与すること) 等

業務		03. 保険料賦課			帳票名称	06 連帳納付書1 (カク公)
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
43		備考 3	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納期限 等
44	領収証書	編集 3	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納期限 等
45		備考 4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等
46		編集 4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 取扱期限 等

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

03. 保険料賦課			帳票名称		07 納付書2 (マル公)	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
1	納入済通知書	賦課年度	●			和暦表記
2		金額	●			納付金額
3		賦課年度	●			和暦表記
4		相当年度	●			和暦表記
5		通知書番号	●			
6		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別 + “期” ③複数期の場合、開始期別 + “期” + “～” + 終了期別 + “期”
7		被保険者番号	●			
8		納期限	●			和暦表記
9		取扱期限	●			和暦表記
10		OCR	●			
11		被保険者氏名	●			
12	QRコード	バーコード	●			出力有無を選択可能とすること (コンビニ収納の実施有無は自治体ごとに差異があるため) コンビニ納付の上限額を超過する場合、 「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示
13				●		JPQR統一規格の仕様に準拠したQRコードを出力すること (金融機関での支払いではなく、コンビニやスマートフォンアプリでの支払いに使用するQRコードを印刷する想定) 出力有無を選択可能とすること ※本仕様書は日本マルチペイメントネットワーク推進協議会 (JAMPA) より公開されている資料 (準備編 「サービス開始までの準備概要とFAQ」) で指定されているQRコードの印刷位置に基づいて作成 ※「地方税におけるQRコード規格に係る検討会／地方税統一QRコードの活用に係る検討会」にて地方税統一QRコードの印刷位置が検討されているが、対象は税であり、料ではないため本仕様書上、地方税統一QRコードは考慮していない (P) QRコードの納付書上の印字位置については金融機関等と調整中のため、一時的に帳票レイアウトからは削除中。調整結果を踏まえて再反映予定)
14	原符兼払込金受領証	賦課年度	●			和暦表記
15		被保険者氏名	●			
16		賦課年度	●			和暦表記
17		相当年度	●			和暦表記
18		通知書番号	●			
19		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別 + “期” ③複数期の場合、開始期別 + “期” + “～” + 終了期別 + “期”
20		被保険者番号	●			
21		納期限	●			和暦表記
22		金額	●			納付金額 (末尾に “円” を付与すること)
23		延滞金	●			延滞金 (末尾に “円” を付与すること)
24		備考 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等
25		編集 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料 (末尾に “円” を付与すること) 等
26		備考 2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等
27		編集 2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額 (末尾に “円” を付与すること) 等
28		備考 3	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等
29		編集 3	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 取扱期限 等
30	領収証書	賦課年度	●			和暦表記
31		宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号
32		発行年月日	●			和暦表記
33		自治体の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体 + 首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件 (首長・職務代理人出力) に従った内容を出力すること
34		自治体の印	●			機能・帳票要件 (電子公印出力) に従った内容を出力すること
35		被保険者氏名	●			
36		賦課年度	●			和暦表記
37		相当年度	●			和暦表記
38		通知書番号	●			
39		被保険者番号	●			
40	備考 4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 賦番 等	

03. 保険料賦課			帳票名称			07 納付書2 (マル公)
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
41		編集 4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号 等
42		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別 + “期” + “ (●月分) ” ③複数期の場合、開始期別 + “期” + “ (●月分) ” + “～” + 終了期別 + “期” + “ (●月分) ”
43	領収証書	納期限	●			和暦表記
44		金額	●			納付金額 (末尾に “円” を付与すること)
45		延滞金	●			延滞金 (末尾に “円” を付与すること)
46		備考 5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等
47		編集 5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料 (末尾に “円” を付与すること) 等
48		備考 6	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等
49		編集 6	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額 (末尾に “円” を付与すること) 等
50		備考 7	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等
51		編集 7	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 取扱期限 等

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務			03. 保険料賦課		帳票名称		08 連帳納付書2 (マル公)	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など		
			必須	オプション	不可			
1	納入済通知書	賦課年度	●			和暦表記		
2		金額	●			納付金額		
3		賦課年度	●			和暦表記		
4		相当年度	●			和暦表記		
5		通知書番号	●					
6		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別 + “期” ③複数期の場合、開始期別 + “期” + “～” + 終了期別 + “期”		
7		被保険者番号	●					
8		納期限	●			和暦表記		
9		取扱期限	●			和暦表記		
10		OCR	●					
11		被保険者氏名	●					
12		バーコード	●			出力有無を選択可能とすること (コンビニ収納の実施有無は自治体ごとに差異があるため) コンビニ納付の上限額を超過する場合、 「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示		
13		QRコード		●		JPQR統一規格の仕様に準拠したQRコードを出力すること (金融機関での支払いではなく、コンビニやスマートフォンアプリでの支払いに使用するQRコードを印刷する想定) 出力有無を選択可能とすること ※本仕様書は日本マルチペイメントネットワーク推進協議会 (JAMPA) より公開されている資料 (準備編 「サービス開始までの準備概要とFAQ」) で指定されているQRコードの印刷位置に基づいて作成 ※「地方税におけるQRコード規格に係る検討会／地方税統一QRコードの活用に係る検討会」にて地方税統一QRコードの印刷位置が検討されているが、対象は税であり、料ではないため本仕様書上、地方税統一QRコードは考慮していない ((P) QRコードの納付書上の印字位置については金融機関等と調整中のため、一時的に帳票レイアウトからは削除中。調整結果を踏まえて再反映予定)		
14	原符兼払込金受領証	賦課年度	●			和暦表記		
15		被保険者氏名	●					
16		賦課年度	●			和暦表記		
17		相当年度	●			和暦表記		
18		通知書番号	●					
19		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別 + “期” ③複数期の場合、開始期別 + “期” + “～” + 終了期別 + “期”		
20		被保険者番号	●					
21		納期限	●			和暦表記		
22		金額	●			納付金額 (末尾に “円” を付与すること)		
23		延滞金	●			延滞金 (末尾に “円” を付与すること)		
24		備考 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等		
25		編集 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料 (末尾に “円” を付与すること) 等		
26		備考 2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等		
27		編集 2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額 (末尾に “円” を付与すること) 等		
28		備考 3	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等		
29		編集 3	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 取扱期限 等		
30	領収証書	被保険者氏名	●					
31		賦課年度	●			和暦表記		
32		相当年度	●			和暦表記		
33		通知書番号	●					
34		被保険者番号	●					
35		備考 4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 賦番 等		
36		編集 4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号 等		
37		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別 + “期” + “ (●月分) ” ③複数期の場合、開始期別 + “期” + “ (●月分) ” + “～” + 終了期別 + “期” + “ (●月分) ”		
38		納期限	●			和暦表記		
39		金額	●			納付金額 (末尾に “円” を付与すること)		
40		延滞金	●			延滞金 (末尾に “円” を付与すること)		

03. 保険料賦課			帳票名称			08 連帳納付書2 (マル公)
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
41		備考 5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等
42		編集 5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料 (末尾に “円” を付与すること) 等
43	領収証書	備考 6	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等
44		編集 6	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額 (末尾に “円” を付与すること) 等
45		備考 7	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等
46		編集 7	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 取扱期限 等

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		04. 保険料収納		帳票名称		01 後期高齢者医療保険料口座振替不能通知書	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
1	文書番号		●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする	
2	発行年月日		●			和暦表記	
3	宛名		●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号	
4	自治体の名称		●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること	
5	自治体の印		●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること	
6	タイトル[相当年度]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、口座振替不能理由によって以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目（和暦表記） （例１） [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料 口座振替不能通知書 （例２） [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料 口座振替不能再振替通知書	
7	案内文		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 口座振替により支払っていただくことになっていましたあなたの後期高齢者医療保険料は、下記の理由により振替できませんでした。	
8	通知書文言		●			口座振替不能理由によって以下の例のように文言を印字する。 （例１）同封の納付書で、取扱期限までに必ず納めてください。 （例２）以下に記した日付にて、再度口座より振替を行います。	
9	金融機関名		●				
10	金融機関支店名		●				
11	預金種目		●				
12	口座番号		●			機能・帳票要件における口座番号マスク機能の要件に準じた出力内容とする	
13	口座名義人		●			半角カナで印字すること	
14	被保険者氏名		●				
15	被保険者番号		●				
16	振替不能の保険料額	相当年度	●			和暦表記	
17		期別番号	●				
18		賦課年度	●			和暦表記	
19		金額	●				
20		振替できなかった理由	●				
21		備考（固定文言１）	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 賦課管理番号、通知書番号、取扱期限	
22		固定文言２＋編集１	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること （想定される印字項目） 賦課管理番号、通知書番号、取扱期限 等	
23	督促及び延滞金	補足説明タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） ２督促及び延滞金	
24		補足説明文[延滞金加算率]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [延滞金加算率]：システム印字項目 （印字例） 保険料をこのまま納付されないと、督促状が発送されるほか延滞金が徴収されます。なお、延滞金は、納期限の翌日から納付の日までの期間の日数に応じ、保険料額に年[延滞金加算率]%の割合を乗じて計算した額です。この場合における年当りの割合は、閏年を含む期間についても３６５日当りの割合です。	
25		納期限名称	●			口座振替不能理由によって以下の例のように文言を印字する。 （例１）納期限 （例２）再振替予定日	
26		納期限	●			口座振替不能理由によって以下の例のように日付を印字する。 （例１）納期限（和暦表記） （例２）再振替予定日（和暦表記）	
27	問い合わせ先	担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名＋部署名	
28		担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号＋全角スペース＋住所	
29		担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定	
30		担当部署FAX番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること	
31		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること	

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務			04. 保険料収納		帳票名称		02 後期高齢者医療保険料還付（充当）通知書		
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など			
			必須	オプション	不可				
1	文書番号		●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする			
2	発行年月日		●			和暦表記			
3	宛名		●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号			
4	自治体の名称		●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること			
5	自治体の印		●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること			
6	タイトル		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 後期高齢者医療保険料還付（充当）通知書			
7	案内文		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） あなたの納めた保険料が納めすぎになりましたので、次のとおり充当した後にお返します。			
8	還付管理番号		●			「04. 後期高齢者医療保険料還付請求書」と紐づく管理番号 還付請求書を発行していない場合は印字しない			
9	被保険者氏名		●						
10	被保険者番号		●						
11	還付する金額	過誤納金算出年度	●			賦課年度、和暦表記			
12		相当年度	●			和暦表記			
13		納め過ぎた金額（過誤納金額）	●			過誤納金額合計（特別徴収にかかる死亡により生じた過誤納金額のうち、年金保険者への返納額を除く）			
14		充当金額	●						
15		還付加算金	●						
16		お返しする金額（還付金額）	●						
17		納め過ぎた金額（過誤納金）の内訳	期別	●					
18		※対象期別の数に応じて、1行目～N行目まで印字	特別徴収	●			特別徴収保険料額		
19			普通徴収	●			普通徴収保険料額		
20			延滞金	●					
21			納めた金額	●					
22			過誤納金額	●					
23			領収年月日	●			和暦表記		
24			発生理由	●					
25			備考 1（固定文言 1）	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 賦課管理番号、督促料		
26		固定文言 2 ＋ 編集 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること （想定される印字項目） 賦課管理番号、督促料 等			
27		充当金の内訳	相当年度	●			和暦表記		
28	賦課年度		●			和暦表記			
29	期別		●						
30	保険料未済額		●						
31	保険料充当額		●						
32	延滞金未済額		●						
33	延滞金充当額		●						
34	備考 2（固定文言 3）	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 賦課管理番号、督促料未済額、督促料充当額				
35	固定文言 4 ＋ 編集 2	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言、項目を印字すること （想定される印字項目） 賦課管理番号、督促料未済額、督促料充当額 等				
36	還付金の受け取り方法	金融機関名	●						
37		支店名	●						
38	備考 3	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 支払予定日				
39	編集 3	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 支払予定日				
40	種目	●							
41	口座番号	●			機能・帳票要件における口座番号マスク機能の要件に準じた出力内容とする				
42	口座名義人	●			半角カナで印字すること				
43	補足説明文 1	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） お返しする保険料・延滞金を下記の金融機関に振込みます。				

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

04. 保険料収納			帳票名称		02 後期高齢者医療保険料還付（充当）通知書	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
44	還付金の受け取り方法	補足説明文 2	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) なお、振込先が空欄の場合は●●課で還付金をお返しすることになります。 持参するもの (1) この通知書 (2) 被保険者証
45	問い合わせ先	担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名＋部署名
46		担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号＋全角スペース＋住所
47		担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定
48		担当部署FAX番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
49		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること
50	不服の申立	教示文[不服申立先担当部署名][不服申立先担当自治体名]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [不服申立先担当部署名]：システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（例：後期高齢者医療審査会名等を設定） [不服申立先担当自治体名]：システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（提起先組織名。例：後期高齢者医療広域連合名等を設定） (印字例) 不服の申立 この通知について不服があるときは、この通知書を受け取った日の翌日から起算して3か月以内に[不服申立先担当部署名]に対し審査請求をすることができま す。また、この処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決書を受け 取った日の翌日から起算して6か月以内に[不服申立先担当自治体名]を被告とし て提起することができます。 なお、処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決を経た後（次の1から3までのいずれかに該当するときに除く。）でなければ提起することができないこととされています。 1 審査請求があった日から3か月を経過しても裁決がないとき。 2 処分、処分の執行又は手続の続行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき。 3 その他裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき。
51		不服申立先担当部署郵便番号	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定
52		不服申立先担当部署住所	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定
53		不服申立先担当部署電話番号	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定
54	ページ数		●			
55	総ページ数		●			
56	納め過ぎた金額（過誤納金）の内訳、充当金の内訳が印字可能件数を超えた場合は改ページする		●			1ページ目と同様の印字編集条件で出力する

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務			04. 保険料収納		帳票名称	03	後期高齢者医療保険料充当通知書
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
1	文書番号		●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする	
2	発行年月日		●			和暦表記	
3	宛名		●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、 対象者氏名 、カスタマバーコード、 対象者番号	
4	自治体の名称		●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること	
5	自治体の印		●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること	
6	タイトル		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 後期高齢者医療保険料充当通知書	
7	案内文		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） あなたの納めた保険料が納めすぎになりましたので、次のとおり充当（割り当て）させていただきます。	
8	被保険者氏名		●				
9	被保険者番号		●				
10	充当金額	過誤納金算出年度	●			賦課年度、和暦表記	
11		相当年度	●			和暦表記	
12		納め過ぎた金額（過誤納金額）	●				
13		還付加算金	●				
14		充当金額	●				
15		納め過ぎた金額（過誤納金）の内訳	期別	●			
16		※対象期別の数に応じて、1行目～N行目まで印字	特別徴収	●			特別徴収保険料額
17		普通徴収	●			普通徴収保険料額	
18		延滞金	●				
19		納めた金額	●				
20		過誤納金額	●				
21		領収年月日	●				
22		発生理由	●				
23		備考 1（固定文言 1）	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 賦課管理番号、督促料	
24		固定文言 2＋編集 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること （想定される印字項目） 賦課管理番号、督促料 等	
25	充当金の内訳	相当年度	●			和暦表記	
26	※対象期別の数に応じて、1行目～N行目まで印字	賦課年度	●			和暦表記	
27		期別	●				
28		保険料未済額	●				
29		保険料充当額	●				
30		延滞金未済額	●				
31		延滞金充当額	●				
32		備考 2（固定文言 3）	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 賦課管理番号、督促料未済額、督促料充当額	
33		固定文言 4＋編集 2	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言、項目を印字すること （想定される印字項目） 賦課管理番号、督促料未済額、督促料充当額 等	
34	補足説明タイトル		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 次回の保険料の支払いについて	
35	補足説明文		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 過誤納金は、これからお支払いいただく保険料や未納になっている保険料に充当させていただきます。その後、足りない金額については、未到来納期分から、請求させていただきます。	
36	問い合わせ先	担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名＋部署名	
37		担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号＋全角スペース＋住所	
38		担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定	
39		担当部署FAX番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること	
40		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること	

業務		04. 保険料収納		帳票名称		03 後期高齢者医療保険料充当通知書	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
41	不服の申立	教示文[不服申立先担当部署名][不服申立先担当自治体名]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [不服申立先担当部署名]：システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（例：後期高齢者医療審査会名等を設定） [不服申立先担当自治体名]：システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（提起先組織名。例：後期高齢者医療広域連合名等を設定）（印字例） 不服の申立 この通知について不服があるときは、この通知書を受け取った日の翌日から起算して3か月以内に[不服申立先担当部署名]に対し審査請求をすることができます。また、この処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決書を受け取った日の翌日から起算して6か月以内に[不服申立先担当自治体名]を被告として提起することができます。 なお、処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決を経た後（次の1から3までのいずれかに該当するときは除く。）でなければ提起することができないこととされています。 1 審査請求があった日から3か月を経過しても裁決がないとき。 2 処分、処分の執行又は手続の続行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき。 3 その他裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき。	
42		不服申立先担当部署郵便番号	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定	
43		不服申立先担当部署住所	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定	
44		不服申立先担当部署電話番号	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定	
45	ページ数		●				
46	総ページ数		●				
47	納め過ぎた金額（過誤納金）の内訳、充当金の内訳が印字可能件数を超えた場合は改ページする		●			1ページ目と同様の印字編集条件で出力する	

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		04. 保険料収納		帳票名称	04 後期高齢者医療保険料還付請求書
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 後期高齢者医療保険料還付請求書
2	自治体の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
3	案内文 1	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 下記の被保険者に係る後期高齢者医療保険料過誤納金の還付について請求します。
4	被保険者氏名	●			
5	被保険者番号	●			
6	還付管理番号	●			「02. 後期高齢者医療保険料還付（充当）通知書」と紐づく管理番号
7	住所	●			住所＋全角スペース＋方書
8	備考 1（固定文言 1）	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 還付額、請求額合計
9	編集 1	●			(還付加算金額ありの場合) 還付額＋還付加算金額 (還付加算金額なしの場合) 還付額
10	備考 2（固定文言 2）	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 還付額、還付加算金額
11	固定文言 3＋編集 2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 還付額、還付加算金額 等
12	案内文 2	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) なお、還付については、以下に記載した内容にもとづき、金融機関口座へ振り込むよう依頼します。また、本人口座以外に還付する場合は、委任状を提示してください。
13	固定文言 4	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) ・理由 ※請求者が被保険者本人ではない場合の理由
14	固定文言 5	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 上記請求者に後期高齢者医療保険料の還付金の請求及び受領を委任します。 ・被保険者氏名 ※（請求者）欄には、窓口に来た方の氏名や連絡先等を記入してください。

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務			04. 保険料収納		帳票名称	05 後期高齢者医療保険料還付・充当希望確認票
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
1	発行年月日		●			和暦表記
2	宛名		●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号
3	タイトル		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 後期高齢者医療保険料還付・充当希望確認票
4	案内文		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 納付（納入）された後期高齢者医療保険料が納めすぎになりましたので、次のとおりお返しいたします。なお、当期までの未済分、および、納期未到来分への充当も行なえます。別紙に添えました『後期高齢者医療保険料収納状況のお知らせ』をご覧ください。
5	被保険者氏名		●			
6	被保険者番号		●			
7	還付する金額	過誤納金算出年度	●			和暦表記
8		相当年度	●			和暦表記
9	納め過ぎた金額（過誤納金額）		●			
10	納め過ぎた金額（過誤納金額）の内訳 ※対象期別の数に応じて、1行目～N行目まで印字	期別	●			
11		特別徴収	●			特別徴収保険料額
12		普通徴収	●			普通徴収保険料額
13		延滞金	●			
14		納めた金額	●			
15		過誤納金額	●			
16		領収年月日	●			
17		発生理由	●			
18		備考1（固定文言1）	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 賦課管理番号、督促料
19		固定文言2＋編集1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること （想定される印字項目） 賦課管理番号、督促料 等
20	金融機関名		●			
21	支店名		●			
22	種目		●			
23	口座番号		●			機能・帳票要件における口座番号マスク機能の要件に準じた出力内容とする
24	口座名義人		●			半角カナで印字すること
25	補足説明文		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 上記、過誤納金額分を次のいずれかの方法でお取扱いいただくことになります。 1．取扱金融機関を登録されている方、上記指定口座に還付金を振り込みます。 2．取扱金融機関を登録されていない方、●●課で還付金をお返しすることになります。 持参するもの（1）この通知書（2）被保険者証
26	問い合わせ先	担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名＋部署名
27		担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号＋全角スペース＋住所
28		担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定
29		担当部署FAX番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
30		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

04. 保険料収納		帳票名称		06 後期高齢者医療保険料収納状況のお知らせ	
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	発行年月日	●			和暦表記
2	タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 後期高齢者医療保険料収納状況のお知らせ
3	被保険者氏名	●			
4	被保険者番号	●			
5	案内文	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 当期までの未済額、および、納期未到来分の未済額をお知らせします。
6	相当年度	●			和暦表記
7	賦課年度	●			和暦表記
8	期別	●			
9	納期限	●			和暦表記
10	保険料	●			
11	延滞金	●			基準日までの延滞金
12	未済額計	●			
13	備考 1（固定文言 1）	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 賦課管理番号、督促手数料
14	固定文言 2 + 編集 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号、督促手数料 等
15	合計（保険料）	●			
16	合計（延滞金）	●			
17	合計（未済額計）	●			
18	固定文言 3 + 編集 2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 合計（督促手数料） 等
19	補足説明文[基準日]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [基準日]：システム印字項目 (印字例) なお、保険料欄に未済金額がある場合、延滞金欄には試算値として [基準日]時点での延滞金未済額を記載しています。
20	ページ数	●			
21	総ページ数	●			

帳票詳細要件
 後期高齢支援システム

業務		04. 保険料収納		帳票名称		07 後期高齢者医療保険料納付証明書	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
1	文書番号		●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする	
2	宛名		●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号	
3	タイトル		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 後期高齢者医療保険料 納付証明書	
4	被保険者氏名		●				
5	被保険者住所		●				
6	表見出し1 [金額タイトル]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること。なお、印字有無はそれぞれの項目で選択可能とすること。下表でもタイトルの印字有無と同様の項目を印字すること。 [金額タイトル]：システム印字項目 (印字例) 納付済額 (内非課税年金分) 未納額 (内非課税年金分) 納期到来未納額	
7	表見出し2 [金額タイトル]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること。なお、印字有無はそれぞれの項目で選択可能とすること。下表でもタイトルの印字有無と同様の項目を印字すること。 特別徴収分[金額タイトル]：システム印字項目 (印字例) 納付済額 (内非課税年金分) 未納額 (内非課税年金分) 納期到来未納額	
8	表見出し3 [金額タイトル]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること。なお、印字有無はそれぞれの項目で選択可能とすること。下表でもタイトルの印字有無と同様の項目を印字すること。 普通徴収分[金額タイトル]：システム印字項目 (印字例) 納付済額 未納額 納期到来未納額	
9	年度		●			納付された保険料の相当年度 和暦表記	
10	保険料額	納付済額	●			納付された保険料額 (年度に該当する対象の合計、未納額も含む金額) ※過誤納額を計上する (収入済額) 場合、還付金額は含まず、還付未済額は含む金額	
11	※「表見出し1」列	非課税年金額1	●			納付済額のうち、非課税年金分の金額	
12		未納額	●			納付される今後の納付見込保険料額 (年度に該当する対象の合計)	
13		非課税年金額2	●			未納額のうち、非課税年金分の金額	
14		納期到来未納額	●			未納金額 (納期到来分)	
15	特別徴収分保険料額	納付済額	●			納付された特別徴収分保険料額 (年度に該当する対象の合計、未納額も含む金額) ※特別徴収分が出力対象ではない場合は*を出力すること ※過誤納額を計上する (収入済額) 場合、還付金額は含まず、還付未済額は含む金額	
16	※「表見出し2」列	非課税年金額1	●			納付済額のうち、非課税年金分の金額 ※特別徴収分が出力対象ではない場合は*を出力すること	
17		未納額	●			納付される今後の納付見込特別徴収分保険料額 (年度に該当する対象の合計) ※特別徴収分が出力対象ではない場合は*を出力すること	
18		非課税年金額2	●			未納額のうち、非課税年金分の金額 ※特別徴収分が出力対象ではない場合は*を出力すること	
19	普通徴収分保険料額	納付済額	●			納付された普通徴収分保険料額 (年度に該当する対象の合計、未納額も含む金額) ※過誤納額を計上する (収入済額) 場合、還付金額は含まず、還付未済額は含む金額	
20	※「表見出し3」列	未納額	●			納付される今後の納付見込普通徴収分保険料額 (年度に該当する対象の合計)	
21		納期到来未納額	●			未納金額 (納期到来分)	

帳票詳細要件 後期高齢者支援システム

業務			04. 保険料収納			帳票名称	07 後期高齢者医療保険料納付証明書
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
22	合計（保険料額）	納付済額合計	●			納付された保険料額の合計 ※未納額も含む金額 ※過誤納額を計上する（収入済額）場合、還付金額は含まず、還付未済額は含む金額	
23	※「表見出し1」列	非課税年金額1合計	●			納付済額のうち、非課税年金額の金額の合計	
24		未納額合計	●			納付される今後の納付見込保険料額の合計	
25		非課税年金額2合計	●			未納額のうち、非課税年金額の金額の合計	
26		納期到来未納額合計	●			未納金額（納期到来分）の合計	
27	合計（特別徴収分保険料額）	納付済額合計	●			納付された特別徴収分保険料額の合計 ※未納額も含む金額 ※特別徴収分が出力対象ではない場合は*を出力すること ※過誤納額を計上する（収入済額）場合、還付金額は含まず、還付未済額は含む金額	
28	※「表見出し2」列	非課税年金額1合計	●			納付済額のうち、非課税年金額の金額の合計 ※特別徴収分が出力対象ではない場合は*を出力すること	
29		未納額合計	●			納付される今後の納付見込特別徴収分保険料額の合計 ※特別徴収分が出力対象ではない場合は*を出力すること	
30		非課税年金額2合計	●			未納額納付のうち、非課税年金額の金額の合計 ※特別徴収分が出力対象ではない場合は*を出力すること	
31	合計（普通徴収分保険料額）	納付済額合計	●			納付された普通徴収分保険料額の合計 ※未納額も含む金額 ※過誤納額を計上する（収入済額）場合、還付金額は含まず、還付未済額は含む金額	
32	※「表見出し3」列	未納額合計	●			納付される今後の納付見込普通徴収分保険料額の合計	
33		納期到来未納額合計	●			未納金額（納期到来分）の合計	
34	備考	滞納有無	●			滞納有無によって以下の文言を出力すること 領収証等により入金を確認できている場合は「滞納なし」の記載に変更できること (印字例：滞納が無い場合) 滞納なし (印字例：滞納が有る場合) 滞納あり	
35	固定文言1		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 括弧内は非課税年金額が表示されています。	
36	案内文1		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 上記のとおり後期高齢者医療保険料を納付したことを証明します。	
37	発行年月日		●			和暦表記	
38	自治体の名称		●			パラメタによって設定内容を選択できること パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名もしくは担当部署名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること	
39	自治体の印		●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること	
40	問い合わせ先	担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名＋部署名	
41		担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号＋全角スペース＋住所	
42		担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定	
43		担当部署FAX番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること	
44		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること	

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		04. 保険料収納			帳票名称	08	後期高齢者医療保険料口座振替済通知兼納付額証明書
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
1	文書番号		●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする	
2	宛名		●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号	
3	タイトル		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 後期高齢者医療保険料 口座振替済通知兼納付額証明書	
4	被保険者氏名		●				
5	被保険者番号		●				
6	固定文言 1 [集計開始日][集計終了日]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [集計開始日]: システム印字項目 [集計終了日]: システム印字項目 (印字例) [集計開始日]～[集計終了日]振替分	
7	案内文 1		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 下記のとおり、指定口座より振替しましたので通知します。	
8	明細	相当年度	●			和暦表記	
9		賦課年度	●			和暦表記	
10		期別	●				
11		振替済額	●				
12		振替日	●				
13		口座情報	●				
14		備考 (固定文言 2)	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 賦課管理番号	
15	固定文言 3 + 編集 1		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号 等	
16	案内文 2		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 上記のとおり後期高齢者医療保険料を納付したことを証明します。	
17	発行年月日		●			和暦表記	
18	自治体の名称		●			パラメタによって設定内容を選択できること パラメタにより出力有無を変更できること 自治体+首長名もしくは担当部署名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件 (首長・職務代理人出力) に従った内容を出力すること	
19	自治体の印		●			機能・帳票要件 (電子公印出力) に従った内容を出力すること (公印の出力有無を変更できること)	
20	問合せ先	担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名+部署名	
21		担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号+全角スペース+住所	
22		担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定	
23		担当部署FAX番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること	
24		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること	
25	ページ数		●				
26	総ページ数		●				

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務			04. 保険料収納		帳票名称		09 後期高齢者医療保険料納付額証明書	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など		
			必須	オプション	不可			
1	文書番号		●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする		
2	宛名		●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号		
3	タイトル		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 後期高齢者医療保険料 納付額証明書		
4	被保険者氏名		●					
5	被保険者住所		●					
6	案内文 1 [集計開始日][集計終了日]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [集計開始日]: システム印字項目 [集計終了日]: システム印字項目 (印字例) あなたが[集計開始日]～[集計終了日]の期間に支払った後期高齢者医療保険料は以下のとおりです。		
7	表見出し 1 [金額タイトル]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること。なお、印字有無はそれぞれの項目で選択可能とすること。下表でもタイトルの印字有無と同様の項目を印字すること。 [金額タイトル]: システム印字項目 (印字例) 普通徴収分		
8	表見出し 2 [金額タイトル]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること。なお、印字有無はそれぞれの項目で選択可能とすること。下表でもタイトルの印字有無と同様の項目を印字すること。 特別徴収分[金額タイトル]: システム印字項目 (印字例) 特別徴収分		
9	年度		●			〇〇年度以前分: 〇〇はパラメタで指定した（[[相当年度]-1]）を出力する。 〇〇年度分 : 〇〇はパラメタで指定した[相当年度]を出力する		
10	普通徴収分保険料額 ※「表見出し 1」列	納付済額	●			普通徴収分の納付された保険料額の相当年度合計金額を出力する。 「年度」の「〇〇年度分」の行は、[相当年度]の合計金額を出力する。 「年度」の「〇〇年度以前分」の行は、（[[相当年度]-1]）以前の合算金額を出力する。 「合計」の行は、「年度」の「〇〇年度以前分」「〇〇年度分」の合計金額を表示する。 （納付済額が“0”の場合は“*****”を出力すること） ※1 集計期間が暦年のため、相当年度が複数年になることから、年度単位の出力とする。また、前年以前の金額は過年度随時期等の複数年の対応をがあることから、これらを考慮し、「〇〇年度以前分」として合算表記とする。 ※2 見込み納付額を反映する場合、納付済額は見込み納付を含めて出力する。		
11		納付見込額	●			上記「納付済額」の金額に見込み納付額が含まれる場合、見込み納付額の金額のみ出力する。 （納付見込額が“0”の場合は“*****”を出力すること）		
12	特別徴収分保険料額 ※「表見出し 2」列	納付済額	●			特別徴収分の納付された保険料額の相当年度合計金額を出力する。 「年度」の「〇〇年度分」の行は、[相当年度]の合計金額を出力する。 「年度」の「〇〇年度以前分」の行は、（[[相当年度]-1]）以前の合算金額を出力する。 「合計」の行は、「年度」の「〇〇年度以前分」「〇〇年度分」の合計金額を表示する。 （納付済額が“0”の場合は“*****”を出力すること） ※1 集計期間が暦年のため、相当年度が複数年になることから、普通徴収の表記に合わせて、「〇〇年度以前分」に前年相当年度分を出力する。 ※2 見込み納付額を反映する場合、納付済額は見込み納付を含めて出力する。		
13		納付見込額	●			上記「納付済額」の金額に見込み納付額が含まれる場合、見込み納付額の金額のみ出力する。 （納付見込額が“0”の場合は“*****”を出力すること）		
14	固定文言 1		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) ※年金から天引きされた分については、公的年金等源泉徴収票をご確認ください。 ※ () 内は納付見込み額です。		

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		04. 保険料収納		帳票名称		09 後期高齢者医療保険料納付額証明書	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
15	案内文 2		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) <ご注意> ※本証明書は確定申告又は住民税申告の際に、社会保険料控除の申告用としてご利用いただくものです。 ※左記証明額は期間中に納付がなされた金額であり、年間の賦課額を証明するものではありません。 ※ 左記証明額は本料のみの金額であり、督促手数料、延滞金は含まれません。 ※ 年末・年始の関係で証明額と実際の納付額と一致しない場合はお問い合わせください。 ※年金から天引きされた分については、公的年金等源泉徴収票をご確認ください。	
16	案内文 3		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 上記のとおり後期高齢者医療保険料を納付したことを証明します。	
17	発行年月日		●			和暦表記	
18	自治体の名称		●			パラメタによって設定内容を選択できること パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名もしくは担当部署名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること	
19	自治体の印		●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること (公印の出力有無を変更できること)	
20	問合せ先	担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名＋部署名	
21		担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号＋全角スペース＋住所	
22		担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定	
23		担当部署FAX番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること	
24		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること	

帳票詳細要件
 後期高齢支援システム

業務		04. 保険料収納			帳票名称	10	後期高齢者医療保険料完納証明書
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
1	文書番号		●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする	
2	宛名		●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、 対象者氏名 、カスタマバーコード、 対象者番号	
3	タイトル		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例：完納証明書) 後期高齢者医療保険料 完納証明書	
4	被保険者氏名		●				
5	被保険者住所		●				
6	表見出し1 [金額タイトル]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること。なお、印字有無はそれぞれの項目で選択可能とすること。下表でもタイトルの印字有無と同様の項目を印字すること。 [金額タイトル]：システム印字項目 (印字例) 納付済額（内非課税年金分） 未納額（内非課税年金分） 納期到来未納額	
7	表見出し2 [金額タイトル]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること。なお、印字有無はそれぞれの項目で選択可能とすること。下表でもタイトルの印字有無と同様の項目を印字すること。 特別徴収分[金額タイトル]：システム印字項目 (印字例) 納付済額（内非課税年金分） 未納額（内非課税年金分） 納期到来未納額	
8	表見出し3 [金額タイトル]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること。なお、印字有無はそれぞれの項目で選択可能とすること。下表でもタイトルの印字有無と同様の項目を印字すること。 普通徴収分[金額タイトル]：システム印字項目 (印字例) 納付済額 未納額 納期到来未納額	
9	年度		●			納付された保険料の相当年度 和暦表記	
10	固定文言1		●			滞納なし	
11	案内文1		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 上記のとおり後期高齢者医療保険料を納付したことを証明します。	
12	発行年月日		●			和暦表記	
13	自治体の名称		●			パラメタによって設定内容を選択できること パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名もしくは担当部署名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること	
14	自治体の印		●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること	
15	問合せ先	担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名＋部署名	
16		担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号＋全角スペース＋住所	
17		担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定	
18		担当部署FAX番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること	
19		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること	

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		04. 保険料収納		帳票名称	11 後期高齢者医療保険料督促状
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	文書番号	●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする
2	発行年月日	●			和暦表記
3	宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、 対象者氏名 、カスタマバーコード、 対象者番号
4	自治体の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
5	自治体の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること
6	タイトル[相当年度]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目（和暦表記） （印字例） [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料 督促状
7	案内文[基準日][指定納期限][自治体名]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [基準日]：システム印字項目（和暦表記） [指定納期限]：システム印字項目（和暦表記） [自治体名]：システム印字項目（印字例） 保険料が、[基準日]現在、下記のとおり滞納になっておりますので、納付について確認のうえ、[指定納期限]まで自治体窓口または指定金融機関等に納付してください。 この督促状の指定納期限まで納付されないときは、地方自治法第231条の3の規定により滞納処分を受けることになります。 また、[自治体名]後期高齢者医療条例第●●●●条の規定により、延滞金及び督促手数料も併せて納付願います。
8	被保険者氏名	●			
9	被保険者番号	●			
10	通知書番号	●			
11	相当年度	●			未納期別の納入通知書における通知書番号
12	賦課年度	●			和暦表記
13	期別	●			和暦表記
14	保険料	●			
15	納期限	●			和暦表記
16	備考（固定文言1）	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 賦課管理番号、延滞金、督促手数料、指定納期限、総合計額
17	固定文言2＋編集1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること （想定される印字項目） 賦課管理番号、延滞金、督促手数料、指定納期限、総合計額 等
18	補足説明文	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） ※ 最近納付された方で、この督促状が行き違いに送達された場合は、ご了承願います。 ※ 領収証は5年間保存願います。
19	問い合わせ先	担当部署名	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名＋部署名
20		担当部署住所	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号＋全角スペース＋住所
21		担当部署電話番号	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定
22		担当部署FAX番号	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
23		担当部署メール		●	マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること
24	不服の申立	教示文[不服申立先担当部署名][不服申立先担当自治体名]	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [不服申立先担当部署名]：システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（例：後期高齢者医療審査会名等を設定） [不服申立先担当自治体名]：システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（提起先組織名。例：後期高齢者医療広域連合名等を設定） （印字例） 不服の申立 この通知について不服があるときは、この通知書を受け取った日の翌日から起算して3か月以内に[不服申立先担当部署名]に対し審査請求をすることができます。また、この処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決書を受け取った日の翌日から起算して6か月以内に[不服申立先担当自治体名]を被告として提起することができます。 なお、処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決を経た後（次の1から3までのいずれかに該当するときは除く。）でなければ提起することができないこととされています。 1 審査請求があった日から3か月を経過しても裁決がないとき。 2 処分、処分の執行又は手続の続行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき。 3 その他裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき。
25		不服申立先担当部署郵便番号	●		マスタ管理している不服申立先情報を設定
26		不服申立先担当部署住所	●		マスタ管理している不服申立先情報を設定
27		不服申立先担当部署電話番号	●		マスタ管理している不服申立先情報を設定

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納		帳票名称		12 督促状・催告書兼納付書1 (カク公)	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
1	納入済通知書	賦課年度	●			和暦表記
2		納付合計金額	●			
3		収納機関番号		●		出力有無を選択可能とすること (マルチペイメントを使用する際に使用)
4		納付番号		●		納付書管理番号、出力有無を選択可能とすること (マルチペイメントを使用する際に使用)
5		確認番号		●		出力有無を選択可能とすること (マルチペイメントを使用する際に使用。採番について規定されたルールはなく、納付書管理番号とペアで使用することで誤入力などにより誤った納付が行われることを防止している。)
6		納付区分		●		納付書納付区分、出力有無を選択可能とすること (マルチペイメントを使用する際に使用)
7		相当年度	●			和暦表記
8		期別	●			①単一期の場合、期別 + “期” ②複数期の場合、開始期別 + “期” + “～” + 終了期別 + “期”
9		通知書番号	●			
10		取扱期限	●			発行する際に、取扱納期限を設定できること 和暦表記
11		OCR	●			
12		バーコード	●			出力有無を選択可能とすること (コンビニ収納の実施有無は自治体ごとに差異があるため) コンビニ納付の上限額を超過する場合、 「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示
13	QRコード		●		JPQR統一規格の仕様に準拠したQRコードを出力すること (金融機関での支払いではなく、コンビニやスマートフォンアプリでの支払いに使用するQRコードを印刷する想定) 出力有無を選択可能とすること ※本仕様書は日本マルチペイメントネットワーク推進協議会 (JAMPA) より公開されている資料 (準備編 「サービス開始までの準備概要とFAQ」) で指定されているQRコードの印刷位置に基づいて作成 ※「地方税におけるQRコード規格に係る検討会／地方税統一QRコードの活用に係る検討会」にて地方税統一QRコードの印刷位置が検討されているが、対象は税であり、料ではないため本仕様書上、地方税統一QRコードは考慮していない (P) QRコードの納付書上の印字位置については金融機関等と調整中のため、一時的に帳票レイアウトからは削除中。調整結果を踏まえて再反映予定)	
14	原符兼払込金受領証	被保険者氏名	●			
15		賦課年度	●			和暦表記
16		納付合計金額	●			
17		取扱期限	●			発行する際に、取扱納期限を設定できること 和暦表記
18		被保険者氏名	●			
19		納付番号		●		納付書管理番号、出力有無を選択可能とすること
20		確認番号		●		出力有無を選択可能とすること
21		納付区分		●		納付書納付区分、出力有無を選択可能とすること
22		賦課年度	●			和暦表記
23		相当年度	●			和暦表記
24	通知書番号	●				
25	期別	●			①単一期の場合、期別 + “期” ②複数期の場合、開始期別 + “期” + “～” + 終了期別 + “期”	
26	領収証書	賦課年度	●			和暦表記
27		宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、 対象者氏名 、カスタマバーコード、 対象者番号
28		発行年月日	●			和暦表記
29		自治体の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件 (首長・職務代理人出力) に従った内容を出力すること
30		自治体の印	●			機能・帳票要件 (電子公印出力) に従った内容を出力すること
31		固定文言	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例 1 : 督促状兼納付書) 督促状兼領収証書 (印字例 2 : 催告書兼納付書) 催告書兼領収証書
32		案内文	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 下記の金額が未納となっておりますので、本状持参のうえ次紙の金融機関で督促手数料を含め納付してください。 なお、本状到着前に納付済の場合は行違いですのでご容赦ください。
33		被保険者氏名	●			
34		被保険者番号	●			
35		備考 5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 賦番 等

業務		04. 保険料収納		帳票名称		12 督促状・催告書兼納付書1（カク公）	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
36	領収証書	編集 5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 賦課管理番号 等	
37		賦課年度	●			和暦表記	
38		相当年度	●			和暦表記	
39		通知書番号	●				
40		期別	●			①単一期の場合、期別 + “期” + “（●月分）” ②複数期の場合、開始期別 + “期” + “（●月分）” + “～” + 終了期別 + “期” + “（●月分）”	
41		納付番号		●		納付書管理番号、出力有無を選択可能とすること	
42		確認番号		●		出力有無を選択可能とすること	
43		納付区分		●		納付書納付区分、出力有無を選択可能とすること	
44		納付金額	●			納付金額（末尾に “円” を付与すること）	
45		延滞金	●			延滞金（末尾に “円” を付与すること）	
46		備考 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 督促手数料 等	
47		編集 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 督促手数料（末尾に “円” を付与すること） 等	
48		備考 2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 納付合計額 等	
49		編集 2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 納付合計額（末尾に “円” を付与すること） 等	
50		備考 3	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 納期限 等	
51		編集 3	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 納期限 等	
52		備考 4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 取扱期限 等	
53		編集 4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること 発行する際に、取扱納期限を設定できること （想定される印字項目） 取扱期限 等	

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		04. 保険料収納			帳票名称	13 督促状・催告書兼納付書2（マル公）
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
1	納入済通知書	賦課年度	●			和暦表記
2		金額	●			納付金額
3		賦課年度	●			和暦表記
4		相当年度	●			和暦表記
5		通知書番号	●			
6		期別	●			①単一期の場合、期別 + “期” ②複数期の場合、開始期別 + “期” + “～” + 終了期別 + “期”
7		被保険者番号	●			
8		納期限	●			和暦表記
9		取扱期限	●			発行する際に、取扱納期限を設定できること 和暦表記
10		OCR	●			
11		被保険者氏名	●			
12		バーコード	●			出力有無を選択可能とすること （コンビニ収納の実施有無は自治体ごとに差異があるため） コンビニ納付の上限額を超過する場合、 「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示
13		QRコード		●		JPQR統一規格の仕様に準拠したQRコードを出力すること （金融機関での支払いではなく、コンビニやスマートフォンアプリでの支払いに使用するQRコードを印刷する想定） 出力有無を選択可能とすること ※本仕様書は日本マルチペイメントネットワーク推進協議会（JAMPA）より公開されている資料（準備編「サービス開始までの準備概要とFAQ」）で指定されているQRコードの印刷位置に基づいて作成 ※「地方税におけるQRコード規格に係る検討会／地方税統一QRコードの活用に係る検討会」にて地方税統一QRコードの印刷位置が検討されているが、対象は税であり、料ではないため本仕様書上、地方税統一QRコードは考慮していない （（P）QRコードの納付書上の印字位置については金融機関等と調整中のため、一時的に帳票レイアウトからは削除中。調整結果を踏まえて再反映予定）
14	原符兼払込金受領証	賦課年度	●			和暦表記
15		被保険者氏名	●			
16		賦課年度	●			和暦表記
17		相当年度	●			和暦表記
18		通知書番号	●			
19		期別	●			①単一期の場合、期別 + “期” ②複数期の場合、開始期別 + “期” + “～” + 終了期別 + “期”
20		被保険者番号	●			
21		納期限	●			和暦表記
22		金額	●			納付金額（末尾に“円”を付与すること）
23		延滞金	●			延滞金（末尾に“円”を付与すること）
24		備考 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 督促手数料 等
25		編集 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 督促手数料（末尾に“円”を付与すること） 等
26		備考 2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 納付合計額 等
27		編集 2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 納付合計額（末尾に“円”を付与すること） 等
28		備考 3	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 取扱期限 等
29		編集 3	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること 発行する際に、取扱納期限を設定できること （想定される印字項目） 取扱期限 等
30	領収証書	賦課年度	●			和暦表記
31		宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、 対象者氏名 、カスタマバーコード、 対象者番号
32		発行年月日	●			和暦表記
33		自治体の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
34		自治体の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること
35		固定文言	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例 1：督促状兼納付書） 督促状兼領収証書 （印字例 2：催告書兼納付書） 催告書兼領収証書

業務	04. 保険料収納	帳票名称	13 督促状・催告書兼納付書2（マル公）
----	-----------	------	----------------------

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
36	領収証書	案内文	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 下記の金額が未納となっておりますので、本状持参のうえ次紙の金融機関で督促手数料を含め納付してください。 なお、本状到着前に納付済の場合は行違いですのでご容赦ください。
37		被保険者氏名	●			
38		賦課年度	●			和暦表記
39		相当年度	●			和暦表記
40		通知書番号	●			
41		被保険者番号	●			
42		備考 4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 賦番 等
43		編集 4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 賦課管理番号 等
44		期別	●			①単一期の場合、期別 + “期” + “（●月分）” ②複数期の場合、開始期別 + “期” + “（●月分）” + “～” + 終了期別 + “期” + “（●月分）”
45		納期限	●			和暦表記
46		金額	●			納付金額（末尾に “円” を付与すること）
47		延滞金	●			延滞金（末尾に “円” を付与すること）
48		備考 5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 督促手数料 等
49		編集 5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 督促手数料（末尾に “円” を付与すること） 等
50		備考 6	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 納付合計額 等
51		編集 6	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 納付合計額（末尾に “円” を付与すること） 等
52		備考 7	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 取扱期限 等
53		編集 7	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること 発行する際に、取扱納期限を設定できること （想定される印字項目） 取扱期限 等

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

05. 滞納管理			帳票名称		01 後期高齢者医療保険料催告書	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
1	文書番号		●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする
2	発行年月日		●			和暦表記
3	宛名		●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号
4	自治体の名称		●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
5	自治体の印		●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること
6	タイトル		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 後期高齢者医療保険料催告書
7	案内文[基準日][指定納期限][自治体名]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [基準日]：システム印字項目（和暦表記） [指定納期限]：システム印字項目（和暦表記） [自治体名]：システム印字項目（印字例） 保険料が、[基準日]現在、下記のとおり滞納になっておりますので、納付について確認のうえ、[指定納期限]まで自治体窓口または指定金融機関等に納付してください。 この催告書の指定納期限まで納付されないときは、地方自治法第231条の3の規定により滞納処分を受けることとなります。 また、[自治体名]後期高齢者医療条例第●●●条の規定により、延滞金及び督促手数料も併せて納付願います。
8	被保険者氏名		●			
9	被保険者番号		●			
10	通知書番号		●			未納期別の納入通知書における通知書番号
11	保険料合計		●			
12	総合計		●			督促手数料、延滞金がある場合は保険料合計に左記を加えた金額
13	備考1（固定文言1）		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 督促手数料合計、延滞金合計、指定納期限
14	固定文言2＋編集1		●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること （想定される印字内容） 督促手数料合計、延滞金合計、指定納期限 等
15	ページ数		●			催告書、催告書別紙を含めた現在のページ数
16	総ページ数		●			催告書、催告書別紙を含めた総ページ数
17	詳細	相当年度	●			和暦表記
18		賦課年度	●			和暦表記
19		期別	●			
20		納期限	●			和暦表記
21		保険料	●			
22		合計	●			督促手数料、延滞金がある場合は保険料に左記を加えた金額
23	備考2（固定文言3）		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 賦課管理番号、督促手数料、延滞金（延滞金算出対象日数）
24	固定文言4＋編集2		●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること （想定される印字内容） 賦課管理番号、督促手数料、延滞金（延滞金算出対象日数） 等
25	補足説明文[基準日]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [基準日]：システム印字項目（和暦表記） （印字例） ※ 延滞金は、[基準日]現在で計算しておりますが、納入日により再計算した金額となります。納期限の翌日から、納入した日までの日数に応じて再計算されますので、ご了承ください。 ※ 最近納付された方で、この催告書が行き違いに送達された場合は、ご了承ください。 ※ 領収証は5年間保存願います。 ※ 延滞金が無い場合、保険料合計欄と総合計欄の金額は同額となります。
26	問い合わせ先	担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名＋部署名
27		担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号＋全角スペース＋住所
28		担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定
29		担当部署FAX番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
30		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること

業務		05. 滞納管理		帳票名称		02 後期高齢者医療保険料催告書別紙	
通番	システム印字項目			実装項目			印字編集条件など
				必須	オプション	不可	
1	タイトル			●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 後期高齢者医療保険料催告書
2	被保険者氏名			●			
3	被保険者番号			●			
4	通知書番号			●			未納期別の納入通知書における通知書番号
5	ページ数			●			催告書、催告書別紙を含めた現在のページ数
6	総ページ数			●			催告書、催告書別紙を含めた総ページ数
7	詳細	相当年度		●			和暦表記
8		賦課年度		●			和暦表記
9		期別		●			
10		納期限		●			和暦表記
11		保険料		●			
12		合計		●			督促手数料、延滞金がある場合は保険料に左記を加えた金額
13			備考（固定文言 1）		●		
14		固定文言 2 + 編集 1		●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字内容) 賦課管理番号、督促手数料、延滞金（延滞金算出対象日数） 等
15	補足説明文[基準日]			●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [基準日]：システム印字項目（和暦表記） (印字例) ※ 延滞金は、[基準日]現在で計算しておりますが、納入日により再計算した金額となります。納期限の翌日から、納入した日までの日数に応じて再計算されますので、ご了承願います。

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		05.滞納管理		帳票名称		03 後期高齢者医療保険料分納誓約書																																									
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など																																									
			必須	オプション	不可																																										
1	発行年月日		●			和暦表記																																									
2	宛名		●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号																																									
3	表タイトル		●			パラメタで表の出力有無を選択できること 表の出力有無および文言マスタの印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する (印字例) 決裁欄																																									
4	タイトル		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 後期高齢者医療保険料 分納誓約書																																									
5	自治体の名称		●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること																																									
6	固定文言 1		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 私は、下記の事由により現在のところ、保険料を完納することができません。 つきましては保険料を、下記の分納計画のとおり納入することを誓約いたします。 なお、誓約違反のときは、地方税法の定めるところにより私の所有財産の差押（公売）処分をうけても異議ありません。																																									
7	被保険者氏名		●																																												
8	被保険者番号		●																																												
9	備考 1（固定文言 2）		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 納付方法																																									
10	固定文言 3＋編集 1		●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 納付方法 等																																									
11	固定文言 4		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 1 事業不振 2 病気 3 失職 4 その他																																									
12	備考 2（固定文言 5）		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 来庁者																																									
13	固定文言 6		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 1 世帯主 2 主の妻(夫) 3 家族 4 その他																																									
14	分納誓約日		●			和暦表記 自署の場合は印字しない																																									
15	分納計画 ※分納期別に応じ、1行目～N行目まで印字	分納期別	●			※分納期別に該当する分納対象（通番17～通番20の出力対象）が複数存在する場合は2行目以降は空白 ・出力例（通番14～通番22） 普徴 1 期（3,000円）、普徴 2 期（3,000円）を 3 回で徴収 <table><tr><td>分納期別</td><td>徴収期限</td><td>徴収額</td><td>相当年度</td><td>賦課年度</td><td>元普徴期別</td><td>保険料</td><td>備考</td></tr><tr><td>分納 1 期</td><td>令和 3 年 4 月 3 0 日</td><td>2,000</td><td>令和 3 年</td><td>令和 3 年</td><td>普徴 1 期</td><td>2,000</td><td></td></tr><tr><td>分納 2 期</td><td>令和 3 年 5 月 3 1 日</td><td>2,000</td><td>令和 3 年</td><td>令和 3 年</td><td>普徴 1 期</td><td>1,000</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>令和 3 年</td><td>令和 3 年</td><td>普徴 2 期</td><td>1,000</td><td></td></tr><tr><td>分納 3 期</td><td>令和 3 年 6 月 3 0 日</td><td>2,000</td><td>令和 3 年</td><td>令和 3 年</td><td>普徴 2 期</td><td>2,000</td><td></td></tr></table>		分納期別	徴収期限	徴収額	相当年度	賦課年度	元普徴期別	保険料	備考	分納 1 期	令和 3 年 4 月 3 0 日	2,000	令和 3 年	令和 3 年	普徴 1 期	2,000		分納 2 期	令和 3 年 5 月 3 1 日	2,000	令和 3 年	令和 3 年	普徴 1 期	1,000					令和 3 年	令和 3 年	普徴 2 期	1,000		分納 3 期	令和 3 年 6 月 3 0 日	2,000	令和 3 年	令和 3 年	普徴 2 期	2,000	
分納期別	徴収期限	徴収額	相当年度	賦課年度	元普徴期別	保険料	備考																																								
分納 1 期	令和 3 年 4 月 3 0 日	2,000	令和 3 年	令和 3 年	普徴 1 期	2,000																																									
分納 2 期	令和 3 年 5 月 3 1 日	2,000	令和 3 年	令和 3 年	普徴 1 期	1,000																																									
			令和 3 年	令和 3 年	普徴 2 期	1,000																																									
分納 3 期	令和 3 年 6 月 3 0 日	2,000	令和 3 年	令和 3 年	普徴 2 期	2,000																																									
16		徴収期限	●			和暦表記 ※分納期別に該当する分納対象（通番17～通番20の出力対象）が複数存在する場合は2行目以降は空白																																									
17		徴収額	●			分納期別の徴収額 ※分納期別に該当する分納対象（通番17～通番20の出力対象）が複数存在する場合は2行目以降は空白																																									
18		相当年度	●			分納対象の相当年度 和暦表記																																									
19		賦課年度	●			分納対象の賦課年度 和暦表記																																									
20		元普徴期別	●			分納対象の期別																																									
21		保険料	●			通番16の徴収額の内、分納対象の期別の徴収額																																									
22		備考 3（固定文言 7）	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 賦課管理番号、督促手数料未納額、延滞金未納額																																									
23		固定文言 8＋編集 2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号、督促手数料未納額、延滞金未納額 等																																									
24	徴収合計額		●																																												
25	ページ数		●																																												
26	総ページ数		●																																												

業務	05.滞納管理		帳票名称			03 後期高齢者医療保険料分納誓約書
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
27	問い合わせ先	担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名＋部署名
28		担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号＋全角スペース＋住所
29		担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定
30		担当部署FAX番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
31		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		05. 滞納管理		帳票名称		04 後期高齢者医療保険料分納承認連絡書																																			
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など																																			
			必須	オプション	不可																																				
1	文書番号		●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする																																			
2	発行年月日		●			和暦表記																																			
3	宛名		●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号																																			
4	自治体の名称		●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること																																			
5	自治体の印		●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること																																			
6	タイトル		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 後期高齢者医療保険料 分納承認連絡書																																			
7	案内文		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 後期高齢者医療保険料の分納については、下記の通り承認しましたので通知します。																																			
8	被保険者氏名		●																																						
9	被保険者番号		●																																						
10	分納承認年月日		●			和暦表記																																			
11	分納計画 ※分納期別に 応じて、1行目～N行目 まで印字	分納期別	●			※分納期別に該当する分納対象（通番14～通番17の出力対象）が複数存在する場合は2行目以降は空白 ・出力例（通番11～通番19） 普徴1期（3,000円）、普徴2期（3,000円）を3回で徴収																																			
						<table><tr><th>分納期別</th><th>徴収期限</th><th>徴収額</th><th>相当年度</th><th>賦課年度</th><th>元普徴期別</th><th>保険料</th><th>備考</th></tr><tr><td>分納 1期</td><td>令和 3年 4月30日</td><td>2,000</td><td>令和 3年</td><td>令和 3年</td><td>普徴 1期</td><td>2,000</td><td></td></tr><tr><td>分納 2期</td><td>令和 3年 5月31日</td><td>2,000</td><td>令和 3年</td><td>令和 3年</td><td>普徴 1期</td><td>1,000</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>令和 3年</td><td>令和 3年</td><td>普徴 2期</td><td>1,000</td><td></td></tr><tr><td>分納 3期</td><td>令和 3年 6月30日</td><td>2,000</td><td>令和 3年</td><td>令和 3年</td><td>普徴 2期</td><td>2,000</td><td></td></tr></table>		分納期別	徴収期限	徴収額	相当年度	賦課年度	元普徴期別	保険料	備考	分納 1期	令和 3年 4月30日	2,000	令和 3年	令和 3年	普徴 1期	2,000		分納 2期	令和 3年 5月31日	2,000	令和 3年	令和 3年	普徴 1期	1,000					令和 3年	令和 3年	普徴 2期	1,000		分納 3期	令和 3年 6月30日
分納期別	徴収期限	徴収額	相当年度	賦課年度	元普徴期別	保険料	備考																																		
分納 1期	令和 3年 4月30日	2,000	令和 3年	令和 3年	普徴 1期	2,000																																			
分納 2期	令和 3年 5月31日	2,000	令和 3年	令和 3年	普徴 1期	1,000																																			
			令和 3年	令和 3年	普徴 2期	1,000																																			
分納 3期	令和 3年 6月30日	2,000	令和 3年	令和 3年	普徴 2期	2,000																																			
12	徴収期限		●			和暦表記 ※分納期別に該当する分納対象（通番14～通番17の出力対象）が複数存在する場合は2行目以降は空白																																			
13	徴収額		●			分納期別の徴収額 ※分納期別に該当する分納対象（通番14～通番17の出力対象）が複数存在する場合は2行目以降は空白																																			
14	相当年度		●			分納対象の相当年度 和暦表記																																			
15	賦課年度		●			分納対象の賦課年度 和暦表記																																			
16	元普徴期別		●			分納対象の期別																																			
17	保険料		●			通番13の徴収額の内、分納対象の期別の徴収額																																			
18	備考（固定文言1）		●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 賦課管理番号、督促手数料未納額、延滞金未納額 等																																			
19	固定文言2＋編集1		●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること （想定される印字項目） 賦課管理番号、督促手数料未納額、延滞金未納額 等																																			
20	徴収合計額		●																																						
21	ページ数		●																																						
22	総ページ数		●																																						
23	問い合わせ先	担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名＋部署名																																			
24		担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号＋全角スペース＋住所																																			
25		担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定																																			
26		担当部署FAX番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること																																			
27		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること																																			

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務			05. 滞納管理		帳票名称		05 後期高齢者医療保険料納付誓約書	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など		
			必須	オプション	不可			
1	発行年月日		●			和暦表記		
2	宛名		●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号		
3	表タイトル		●			パラメタで表の出力有無を選択できること 表の出力有無および文言マスタの印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する (印字例) 決裁欄		
4	タイトル		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する (印字例) 後期高齢者医療保険料 納付誓約書		
5	自治体の名称		●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること		
6	固定文言 1		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する (印字例) 私は、下記の事由により現在のところ、保険料を完納することができません。 つきましては保険料を、下記のとおり納入することを誓約いたします。なお、誓約違反のときは、地方税法の定めるところにより私の所有財産の差押(公売)処分をうけても異議ありません。		
7	被保険者氏名		●					
8	被保険者番号		●					
9	固定文言 2		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する (印字例) 1 事業不振 2 病気 3 失職 4 その他		
10	備考 1（固定文言 3）		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する (印字例) 来庁者		
11	固定文言 4		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する (印字例) 1 世帯主 2 主の妻(夫) 3 家族 4 その他		
12	納付誓約日		●			和暦表記 自署の場合は印字しない		
13	納付誓約対象 ※納付誓約対象の期 別に応じて、1行目～ N行目まで印字	相当年度	●			和暦表記		
14		賦課年度	●			和暦表記		
15		期別番号	●					
16		誓約期限日	●			和暦表記		
17		徴収額	●					
18		備考 2（固定文言 5）	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 賦課管理番号、督促手数料未納額、延滞金未納額 等		
19		固定文言 6＋編集 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号、督促手数料未納額、延滞金未納額 等		
20	徴収合計額		●					
21	ページ数		●					
22	総ページ数		●					
23	問合せ先	担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名＋部署名		
24		担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号＋全角スペース＋住所		
25		担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定		
26		担当部署FAX番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること		
27		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること		